

# 台湾新聞

## TAIWAN NEWS ◆ 2024年10月双十国慶節特別号 NO.325

発行元：株式会社 臺灣新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL：03-5917-0045 FAX：03-5917-0047 E-mail:info@taiwannews.jp

台湾新聞は現状の政権を尊重し、公正かつ中立の立場を理念として発行する唯一の新聞社です。政党や思想にとらわれない自由と平等な紙面構成を常に心がけております。皆さまからの暖かいご支援をお願い申し上げます。

### 中華民國(台湾)113年(2024年) 国慶節祝辞

今年、私は初めて駐日代表として中華民國(台湾)の国慶節を迎えます。

今年の始め、台湾では総統(大統領)と立法委員(国会議員)の選挙が行われ、自由と民主主義の堅持こそが正しい道だと深く信じる台湾人が、自らの意志で投票し、再び世界に台湾の活発且つ成熟した民主主義を示すことができました。

5月に就任した頼清徳総統は日本を極めて重視しています。頼総統は台湾と日本が互いに運命共同体であると強調し、台日協力を一層深め、両国の発展と地域の繁栄を促進できるよう期待しています。長年にわたる交流を通して、台湾と日本は強固な基礎を構築し、双方の関係は深く緊密になっています。近年、国会議員や地方自治

体などとの交流を通じて、台日関係は着実に成長してきました。台湾と日本はかつてないほど良好な関係にあります。

台湾は日本にとって信頼できる友人であり、お互い助け合うパートナーでもあります。台湾と日本はコロナ禍を共に乗り越え、今年1月の能登半島地震および4月の花蓮地震が発生した際、台湾と日本の国民はそれぞれ支援を届けようと自発的に動き出しました。このような思いやりと信頼関係は、まさに台日連携の基礎といえます。この場をお借りして、日本各界の皆様へ改めて感謝の意を表します。

これまでの豊かな成果を基礎として、台湾と日本の連携を強め、新たな局面を切り拓いていくことを期待しています。近年の激動する国際情

勢のなか、台日の連携はますます重要な力となっています。台湾は日本や米国、欧州など自由・民主主義・法の支配・人権といった普遍的価値観を共有する民主陣営の国々と共にあり、「価値観外交」を通して「民主主義の保護傘」を広げ、権威主義の拡張を抑制し、台湾海峡の現状および地域の平和と安定を維持していきます。台湾も引き続き自国の国防力の強化に努め、友好国と手を取り合い、情報共有や役割分担、共同訓練などの安全保障分野において協力を深めていくことを望んでいます。

台湾はまた、自身の経済強靱性を高めることにより、国の安全を守ります。経済分野の連携について、台湾と日本は産業の相互補完を通じて、両国間の経済関係をより緊密化し、共に経



台北駐日経済文化代表処代表 李逸洋

済を成長させていけると信じています。世界の半導体産業をリードするTSMCが投資した熊本工場が今年2月に開所式が開かれ、台湾企業も相次いで日本へ進出しています。今後、台日はAI、半導体、次世代通信などの先端産業についても大きな協力の可能性を持っています。また台湾はこれからもTPPへの加盟に向けて積極的に取り組み、台日経済連携協定についても早期締結できるよう期待しています。これらは、台湾や日本のみならず、世界の経済的強靱性や繁栄にも大きな貢献をもたらすでしょう。

友好かつ強靱な台日関係は必ずインド太平洋地域と世界に民主主義・平和・繁栄をもたらします。今後、私は頼総統の理念に基づき、引き続き台日関係の発展に努めます。日本政府や国

TOPIC

日本語版

- 頼清徳総統就任演説全文 民主、平和、繁栄の新台幣を築く 2面
- 頼総統が大橋会長の訪台を歓迎 3面
- 妻木さんが台湾観光のアンバサダーに就任 プロモーションビデオ撮影も 4面

中国語版

- 東京僑界迎旗 蔣萬安市長感謝並感謝僑胞做民間外交 7面
- 台灣連連續四次登高門寺阿波舞大會 盼吸引年輕力量加入 8面
- 彰化愛樂與近畿大學吹奏部交流 用音樂跨越國際和語言 9面
- 神戸華僑總會籌備紀念刊物 傳承80年來的寶貴與足跡 10面
- 昭和櫻蓮郷首登北海道 落腳北海道神宮 11面

WEBでもニュース記事が読めます  
<https://taiwannews.jp/>



会議員をはじめ、各界の皆様におかれましては、どうか台湾への変わりぬご支持を賜りながら、末永い台日関係の発展に向けて共に取り組んでいけるよう、心よりお願い申し上げます。

### 李逸洋駐日新代表氏が着任 日台協力で地域の安定と平和を目指す



台北駐日経済文化代表処の新代表李逸洋氏

台北駐日経済文化代表処の新代表李逸洋氏がこのほど、台湾から羽田空港に降り立ち、着任した。出迎えた多くの国会議員や日本台湾交流協会、関東地区在住の台湾系リーダーや台湾人で空港は賑わった。李代表は到着後「最初の任務は日本各界と協力し地域の安定と平和を維持する」と強調した。

李代表の出迎えには、日華議員懇談会から衆議院議員の金子恭之氏、笠浩史氏、平沼正二郎氏、参議院議員の山本順三氏、瀧波宏文氏、石井章氏の6人が代表として参加。また、日本台湾交流協会の谷崎泰明理事長も到着に立ち会い、さらに関東在住の台湾系リーダーや台湾人も多数集まった。到着を聞きつけた日本人もカメラを手に大挙するなど、NHKやTBSなどの主要なテレビ局や新聞社も取材に駆けつけた。

李代表は「本日、私は日本に着任しましたが、多くの国会議員や谷崎泰明理事長が忙しい中にも関わらず出迎えてくださり、心から感謝しています。現在、自民党の総裁選や立憲民主党の代表選挙が行われている時期にも関わらず、皆さんがどのように私を迎えに来てくださったことに感動しました」との意を表した。

また、李代表は「台湾と日本の関係は現在、過去数十年間で最も良い時期にある」と述べ、特に災害や地震、パンデミックなど困難な時期には互いに支援を惜しまなかったと強調した。さらに「頼清徳総統が最近、民主主義の傘を広げ、民主的価値を共有する国々と連携して地域の安全と平和を維持しようと呼びかけています。これこそが、私が日本に来た最初で最も重要な任務であり、日本と共に努力していきたい」と述べた。今後は、

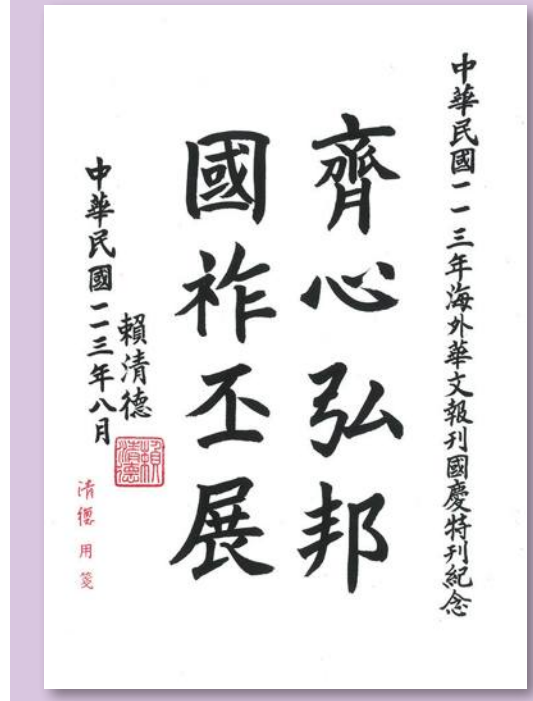


在台日台湾人や日本の友党派議員らと協力し、地域の安定と平和を維持するために尽力する意向を示した。

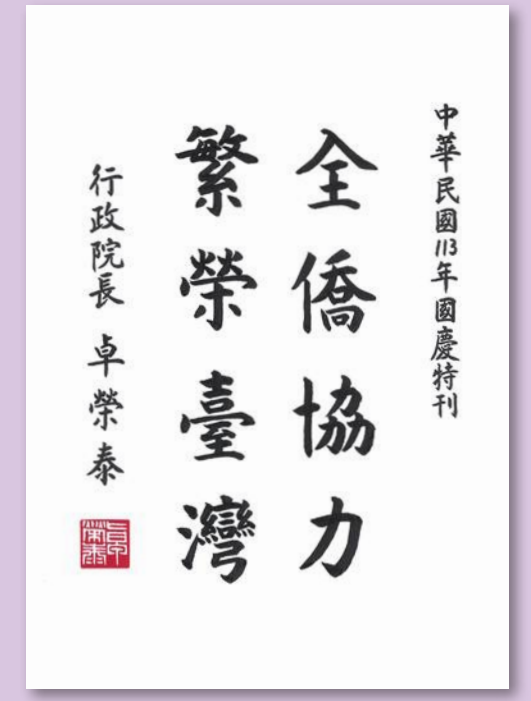
東京媽祖廟の詹徳薫理事長は「李逸洋氏は非常に真面目な大使で、目立たないながらも着実に仕事をこなす方です。過去に外交官の経験はありませんが、日本でゼロからスタートし、台湾と日本の関係をより友好的にするために力を発揮できると信じています」と述べ、在台日台湾人の支持を表明した。

また、全日本台湾連合会の趙中正会長は、李代表の日本語力を称賛しつつ、「李逸洋氏は非常に落ち着いた印象で、これからの活躍に大きな期待を寄せています。特にこれまでの8年間で築かれた良好な基盤をさらに発展させ、軍事や安全保障の分野でも台日関係を強化することができる」と期待感を示した。

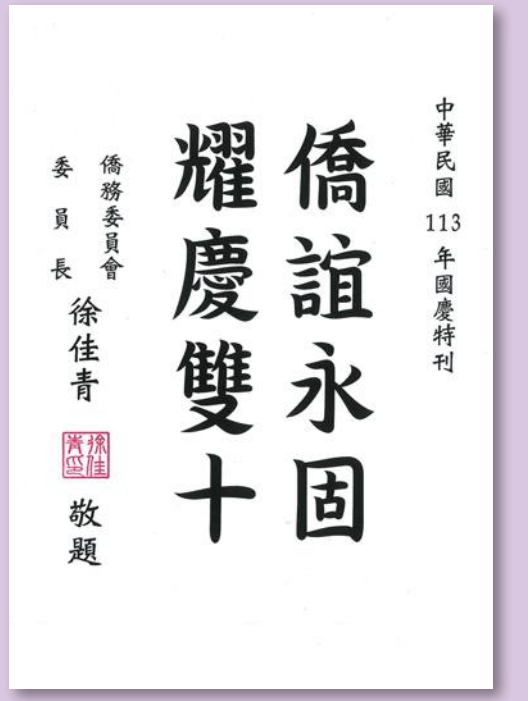
李代表は1980年代、陳水扁元総統や黄天福元立法委員と共に「蓬萊島雜誌事件」で8か月の懲役刑を受け、「蓬萊島三君子」として知られる。その後、台北市議会議員や内政部長を務め、蔡英文総統の下で考試院副院長、総統府資政を歴任している。



總統 賴清徳提詞



行政院長 卓榮泰提詞



僑務委員會委員長 徐佳青提詞

### 台風も熱意を阻めず! 日本台湾祭りが7年ぶりに上野で開催



2024日本台湾祭り in 上野が7年ぶりに上野公園で8月30日から9月1日にかけて開催された。今年のテーマは「復興支援の輪」。台湾文化や台湾グルメの紹介はもとより、能登半島震災及び台湾花蓮で発生した0403地震への募金活動も行われた。台風の影響が懸念されたが、多くの日本人や欧米からの観光客も来場し、台湾の存在感のアピールに成功した模様。

今回の台湾祭りは、2017年以来の上野公園開催で、会場には募金箱が設置され、被災地支援の呼びかけも実施された。従来の「おなかにとどく幸せ ころろにとどく元気」を継承し、台湾の文化、そして食を通じて「復興支援の輪」の広がりも目指した。

主催者で本紙の社主、台日文化交流基金の代表理事を務める錢妙玲氏は「台湾祭りは台日交流の架け橋として開催してきたが、パンデミックの影響で中断を余儀なくされた。しかし、多くの期待に応える形で再び上野公園

での開催を決定した。台湾の情熱と温かさを世界に伝える素晴らしい機会になった」と話した。

期間中は台風の影響が心配され、錢氏も「安全を最優先にした見地から中止も検討していた」と振り返る。しかし、幸運にも西北雨を除き天候は安定し、無事にイベントは開催された。「天候の不安にもかかわらず、イベントに尽力したボランティア、出店者、パフォーマーたちに深く感謝します。皆さんのおかげでお祭りは成功しました」と語った。

なお、今年の台湾祭りは、台湾の伝統芸能が披露され、特に「凱揚戯劇団」の台湾歌劇、「金宇園掌中劇団」の布袋劇、「妙璇舞踊団」の舞獅、「蘭陽サンパダンス団」のサンパダンスが来場者を沸かせた。また、滷肉飯や小籠包、大鶏排などの台湾のグルメが大好評で、雪花氷やタピオカミルクティー、フルーツティーなどの夏のデザートも多くの来場者に親しまれた。



日本台湾祭りは、2015年に上野公園で初開催され、2017年に続いて今回が3回目。2018年には北海道札幌でも開催され、北海道初の台湾祭だった。また、2018年には台北大稻埕でも開催されている。



# 賴清德總統就任演説全文

## 民主、平和、繁栄の新台湾を築く



賴清德總統就任式(写真提供:中央社)

蕭美琴副總統、各友好国の元首とご来賓の皆様、各国の駐台使節の代表、会場にお集りの皆様、テレビの前、並びにライブ配信をご覧の皆様、全国同胞の皆様、こんにちは！

私は若い頃、医者になって人々を救おうと決意しました。私は政界に入ったとき、台湾を変えようと思っていました。今、私はここに立って、国を強くする決意をしています！

私は、極めて揺るぎない心をもって、国民の負託を受け、中華民国第16代總統に就任いたします。私は、中華民国の憲政体制に基づき、国を前進させる重責を担うべく取り組んでまいります。

振り返ってみると、1949年の今日、台湾は戒厳令を施行し、全面的に独裁の暗黒時代に突入しました。

1996年の今日、台湾で初めて民選による總統が宣誓就任し、国際社会に中華民国台湾は主権独立国家であり、主権は民にあるというメッセージを伝えました。

2024年の今日、台湾は三回の政権交代を経験したのち、初めて同じ政党が連続で政権与党となり、正式に三任期目を展開します。台湾はまた、チャレンジに満ち溢れ、また無限の希望を育む新しい時代に帆を挙げ進もうとしています。

このプロセスは、この土地に暮らす人々が次々と勇気に突き進み、犠牲を払い献身した結果によるものです。大変でしたが、私たちはやり遂げました！

この瞬間、私たちは新政権の発足に立ち合っているだけでなく、苦勞して勝ち取った民主主義の勝利を再び迎えているのです！

多くの人は、私と蕭美琴副總統の当選を「8年ごとに政権交代が行われるというジレンスを打破した」と解釈していますが、実際には、民主主義は国民が主人公であり、すべての選挙に幻想的なジレンスなどは存在しません。あるのは国民の政権与党に対する最も厳しい検証であり、国の将来に対する最も現実的な選択だけです。

私は、過去8年間にわたる蔡英文前總統、陳建仁元副總統、並びに行政チームの努力に感謝したいと思います。彼らは台湾の発展のために堅実な基礎を築いてくださいました。皆さん、どうぞ彼らに熱い拍手を送ってください！

また、国民同胞の支持にも改めて感謝します。外部勢力に影響されず、民主主義をしっかり守って前進し、過去を振り返らず、台湾のために歴史の新たなページを開いてくれたことに感謝します！

私は、これからの在任期間中も毎日、「正義を行い、慈しみを愛し、謙虚な心」を持ち、「国民を自分の家族として扱い」、あらゆる信頼と負託に恥じぬよう努めてまいります。新政権はまた、真面目にコツコツと最善のパフォーマンスを発揮して、国民による検証を真摯に受け止めます。我々の施政は革新を繰り返して、台湾政治の新しい姿を創り出します。

### 一、行政と立法の協調と連携により 共同で国政を推進する

今年2月に発足した新国会は、台湾で16年ぶりに「三つの政党がどれも過半数を超えていない」立法院となりました。この新たな政治情勢に期待を抱く人もいれば、不安を抱く人もいます。

私が皆さんに伝えたいのは、これは国民が選択したニューモデルだということです。新たな思考で「三つの政党がどれも過半数割れ」の状況を見るならば、これは与野党がそれぞれ各自の理念を共有し、国のさまざまなチャレンジを共同で担っていかざるを意味しているからです。

しかし、国民は政党が理性的な政治を行うことに対して大きな期待を寄せています。政党が競争だけでなく、協力の信念をもってこそ、国ははじめて着実な歩みを進めることができるのです。

立法院の審議活動は手続き上の正義を遵守し、多数派が少数派を尊重し、少数派が多数派に従うことによるのみ衝突を回避し、社会の安定と調和を維持することができます。

民主主義の社会では、国民の利益が第一とされます。これが民主主義の根幹です。国の利益は政党の利益より優先されます。これは政党の本分です。与

野党が法案を推進するにあたり、ともに憲法に適合し、「国民第一」、「国家優先」の精神を貫いていければ、国政は自然と円滑に進むでしょう。行政院の卓榮泰院長が率いる内閣チームも、社会にとって有益で政府と野党の合意が得られる課題を優先的に解決し、積極的な行動と革新的な思考で世論に応え、国民に奉仕するでしょう。

去る4月3日に発生した震災の復旧作業が現在も進められています。犠牲になられた方々に改めて哀悼を捧げますとともに、ご遺族の皆様にも心よりお見舞い申し上げます。また、災害救援と復興を支援してくれたすべての国民に感謝するとともに、国際社会の気遣いにご支援にも感謝します。

中央政府はすでに285億5000万円の予算を投入して、復旧作業と産業の振興を支援し、花蓮の人々が一日も早く通常の生活に戻れるよう協力しています。

私は、今後の中央政府と地方の協力、行政と立法の協調運営に大きな期待を寄せています。またすべての国民と手を取り合い努力して、ともに台湾の民主主義を深化させ、インド太平洋地域の平和を維持し、世界の繁栄を促進してまいります。

### 二、民主主義の台湾、世界の光

国民同胞の皆さん、民主、平和、繁栄は台湾の国家路線であり、また台湾と世界をつなげるものでもあります。

台湾は「ワールドデモクラシーチェーン」のハイライトです。民主的な台湾の輝かしい時代が到来したのです！

台湾は總統の直接選挙の開始以来、世界で最も活発に発展してきた民主国家の一つとなりました。私たちは人権を改善し続け、民主主義と自由の価値を世界に示し続けています。

台湾はアジアで初めて同性婚を合法化した国です。

台湾は、民主的な感染症対策が権威主義的な感染症対策より優れていることを実証しました。

台湾は民主主義指数で、或いは自由度の評価で、いずれもアジアのトップクラスに数えられています。民主主義の台湾はすべての台湾の人々のものなのです。

今後、新政府は台湾の民主主義の活力を生かして国家発展を推進し、国際協力を深めていきます。

対内的には、私は才能に基づいて人材を起用し、清廉かつ勤勉な政治を行い、民主的なガバナンスを実施し、開かれた政府を確立します。「公開性、透明性」および「国民が主人である」との精神に基づいて国民が公共政策に参加することを奨励します。また、引き続き公民権年齢の18歳への引き下げを推進し、共同で国のビジョンを実現するために取り組んでまいります。

対外的には、私たちは引き続き民主主義国家とデモクラシー共同体を形成し、さまざまな分野での発展経験を相互に交換します。また、協力して偽情報と闘い、民主主義の強靱性を強化し、さまざまな課題に対応して台湾を民主主義世界のMVPにします！

### 三、民主主義の台湾、世界平和の舵取り

平和は貴重で、戦争に勝者はいません。来年、第二次世界大戦終結から80年を迎えます。台湾も他の国々と同様、戦後の苦しい復興の道を経て、今日の発展を遂げました。戦争によってすべてが破壊されることを望んでいる人はいません。

今日、ロシア・ウクライナ戦争とイスラエル・ハマス戦争は引き続き世界に衝撃を与えており、中国の軍事行動とグレーゾーンでの脅威は世界の平和と安定に対する最大の戦略的課題と見なされています。

台湾は「第一列島線」の戦略的位置にあり、世界の地政学への発展に影響を与えています。蔣渭水という偉大な先人はすでに1921年の段階で台湾が「世界平和への第一関門の守護者」であると指摘していました。2024年の今日、台湾の役割はさらに重要になっています。

国際間にはすでに、台湾海峡の平和と安定は世界の安全と繁栄にとって不可欠な要素であるという高度なコンセンサスがあります。

現在の複雑な国際情勢に対応するため、世界各国

は積極的に協力し、地域の平和と安定を維持しようとしています。つい先月、米国は「インド太平洋軍事支援を含む追加予算案」を可決し、インド太平洋地域に追加の安全保障支援を提供し、台湾海峡の平和と安定を支援することにしました。

私たちは、世界各国の台湾に対する関心と支援に感謝しています。また、台湾にとって民主主義と自由は譲ることのできないものであり、平和が唯一の選択であり、繁栄が長期的な平和と安定の目標であることを世界に向けて宣言します！

台湾海峡兩岸の将来は世界情勢に決定的な影響を与えます。台湾の民主化を担う私たちは平和の舵取り役でもあるのです。新政権は「四つの堅持」に基づき、へつらわず、高ぶらず、現状維持に取り組んでまいります。

また、私は中国に対し、台湾への言論での威嚇や武力による挑発をやめるよう求めます。台湾とともに世界的な責任を負い、台湾海峡と地域の平和と安定を維持することに尽力し、世界を戦争の恐怖から解放しなければなりません。

台湾の人々は平和を愛し、他人に対して親切です。私たちは、国家の指導者が国民の福祉を最優先に考えるのであれば、台湾海峡を越えた平和、互恵、共存、共同繁栄が互いにとって共通の目標となるべきであると確信しています。

従って、私は中国が中華民国の存在事実を直視し、台湾人民の選択を尊重することを望みます。また、誠意をもって民主選挙で選ばれた台湾の合法的な政府と対等、尊厳の原則の下で、対抗ではなく対話を、封じ込めではなく交流を進め、協力し合うことを望みます。まずは、対等な形で相互の観光往来と台湾への留学を再開し、共に平和と共栄を追求することから始められると考えています。

国民同胞の皆さん、私たちは平和を追求するという理想を持っていますが、幻想を持つことはできません。中国はまだ台湾に対する武力侵攻の可能性を断念していません。中国の提案を全面的に受け入れ主権を放棄したとしても、中国の台湾併合の企みは消えることはないことを国民の皆さんは理解してください。

中国からのさまざまな脅威や浸透に対して、私たちは国を守る決意を示し、国を守るすべての国民の意識を高め、国家安全保障の法制度を改善し、「平和のための4つの支柱アクション」を積極的に実行しなければなりません。国防を強化し、経済の安全保障を構築し、兩岸関係において安定し、かつ原則に基づいたリーダーシップを発揮します。価値観外交を推進し、世界中の民主主義国家と肩を並べて、平和の共同体を形成することによって抑圧力を発揮し、戦争を回避し、実力によって平和という目標を達成せねばなりません。

### 四、民主主義の台湾、世界繁栄の牽引役

台湾は世界を必要とし、世界は台湾を必要としています。台湾は世界への扉を開いただけでなく、すでに世界の舞台の中心にいるのです！

未来の世界に目を向けると、半導体がいいたるところに普及し、AIの波が世界中に押し寄せています。現在の台湾は、半導体の最先端のプロセス技術を掌握し、AI革命の中心に立っています。それは「世界の民主的サプライチェーン」の鍵を握る存在であり、世界経済の発展と人類の生活の幸福と繁栄に影響を与えています。

国民同胞の皆さん、我々が中華民国台湾の将来は2,300万人の人民が共同で決定するものと主張するとき、私たちが決める未来は、私たちの国の未来だけでなく、世界全体の未来になるのです。

私たちは正しい道を歩まなければなりません。そして、私たちの産業はその能力を発揮し、世界を繁栄させる立役者とならなければなりません。台湾が一つ前進すれば、世界も一つ前進するのです。

これまで、私は行政院長、副總統を務め、全国各地の企業を訪問し、台湾産業のポテンシャルとニーズを理解してきました。将来、政府は産業界と緊密に連携して、次の三つの大きな方向性を掲げ、台湾の発展を推進してまいります。

一つ目の方向性は「未来を見据えたスマート化とサステイナブル」です。気候変動の危機に直面する中、私たちは2050年



就任式(写真提供: 總統府)

のネットゼロ移行を断固として実行しなければなりません。グローバルインテリジェンスの波に直面する中で、私たちは半導体チップのシリコンアイランドを基礎として、台湾が「AIの島」になるよう推進し、AIの産業化を促進します。また、AIの革新的な応用を加速し、AIのコンピューティング能力を利用して、国力、軍事力、マンパワーと経済力を強化していきます。

また、イノベーション主導型の経済モデルを進展させ、デジタルトランスフォーメーションとネットゼロトランスフォーメーションの2つを軸として、中小企業のアップグレードと変革に協力し、包摂的ほうせつせつな成長を追求し、スマートで持続可能な新台湾を構築し、そして、台湾に第二次の経済の奇跡をもたらします。

スタートアップ企業への投資や新世代の「隠れたチャンピオン企業」の育成に加えて、量子コンピューター、ロボット、メタバース、精密医療など、各分野の先進的なテクノロジーにも大胆な投資を行います。若者が自分の夢を追うことができるようにすると同時に、台湾が将来、世界をリードする地位を確保できるように取り組んでまいります。

二つ目の方向性は、「航空宇宙産業の競争参入と海洋の探索」です。

私たちは、民主国家によるドローン産業のサプライチェーンにおいて台湾をアジアの中心に位置づけることと、中低軌道の次世代通信衛星の開発に力を入れ、世界の航空宇宙産業に参入するという目標を設定しました。

また、私たちは海洋を探索し、海洋国家の優位性を最大限に発揮し、国民の海洋生活を豊かにし、海洋科学技術の研究に投資して海洋産業の発展を推進し、国家の競争力を強化します。私たちは、台湾の経済と産業がより多くの方向に発展することを望んでいます。

三つ目の方向性は「グローバルな布陣と、全世界でのマーケティング」です。

台湾はすでにCPTPPへの参加を申請しており、私たちは積極的に地域経済統合への参加を目指します。世界中の民主主義国家と二国間投資保障協定を締結し、貿易パートナーシップを深化させます。また、炭素関税の問題を解決し、発展の余地をさらに拡大することに取り組んでまいります。

我々はまた、グローバルサプライチェーンにおける重要な地位を維持し、地政学的な変化がもたらすビジネスチャンスをつかみ、半導体、AI、軍事産業、セキュリティ制御システム、次世代通信といった「五大信頼産業」を育成します。さらに持続的に投資環境を改善し、海外に進出する台湾企業のUターン投資を歓迎し、地場企業が投資を拡大し、台湾に止まり続けることを奨励します。

私は各業種の人々に保証いたします。皆さんが野心と志をもってトップを目指すならば、政府にも皆さんを全面的にバックアップする決意があります。台湾の産業が台湾に立脚し、グローバルに展開し、全世界でマーケティングができるよう支援してまいります！

台湾は経済分野で「太陽の沈まない国」になれる能力を絶対的に持っています。太陽がどこから昇ろうとも台湾企業を照らし、地域の発展に利益をもたらす、台湾の人々がより豊かな生活を送れるようにするのが、私たちの目標です！

### 五、民の幸せを喜び、民の悩みを憂う

私は、経済発展の成果がすべての人々によって共有されるべきであると強く信じています。今後は「希望のための国家プロジェクト」の推進と、社会投資の拡大によって、愛と道徳的な勇気を持つ台湾社会を築いてまいります。それは若者が希望を見ることができ、中年層が夢を実現でき、高齢者が幸福を得ることができ、弱者はケアされることができ、社会です。誰もが人生のあらゆる段階で政府の支援を受けることができます。

今後は、保育、介護、公営住宅などのサービスを拡大し続けます。

物価、住宅価格、貧富の差などの問題も継続的に改善されなければなりません。

食品の安全、交通の安全、キャンパスの安全、社会的セーフティネットなどの保障も、継続的に強化されなければなりません。

また、教育、司法、移行期正義などの改革にも取り組まなければならないと見なされています。

国民の生活上の不安や期待は私も理解しています。皆さんが懸念している問題や社会が必要とする改革に、政府は積極的に対応し、全力で取り組んでまいります。

誰もがより高い収入を望んでいます。私は産業の高度化を推進し、より良い給与環境を作ります。

誰もが治安の向上を望んでいます。私はブラックマネー、拳銃、麻薬や詐欺を積極的に取り締まりま

す。誰もが安定した電力供給を必要としています。私は第二次エネルギー転換を推進し、多様なグリーンエネルギーとスマートグリッドを発展させ、電力システムの強靱性を強化します。

誰もが労働保険の財政について懸念しています。私は政府が存在する限り、労働保険は決して破綻しないことを改めて強調します。

誰もが交通問題を重視しています。私は人を中心とした交通環境づくりに取り組み、「歩行者地獄」の悪評を払拭します。

誰もが政府には、家族の介護者の負担軽減や産業界の労働力不足の窮状改善への支援を期待しています。これらの問題は、私が積極的に解決してまいります。

将来に向けて、私たちは皆、台湾がより強靱になることを期待しています。感染症や自然災害などさまざまな種類の災害に適切に対応し、都市の再開を加速させ、老朽化した古い建物の問題を解決できるよう期待しています。

私たちはまた、台湾がより健康になることを期待しています。私は医師としての専門性を活かして、あらゆる分野の人々たちの力を結集してがんと闘います。また、「体育及びスポーツ発展部」を設立し、全国民がスポーツを楽しむようにします。さらに国民健康保険の持続可能な運営を確保し、国民が健康で長生きできるように取り組んでまいります。

将来の台湾は、多様な生態環境と多様な民族文化を特徴とします。環境の持続可能性と文化の持続可能性を実践して、より良い国になるでしょう。

将来の台湾は、より多様化した革新的な経済や、より普及したデジタル技術の応用、より優れた競争力とバイリンガル能力、より強力な公的支援サービスシステム、そしてジェンダー平等を尊重する環境を持ち、すべての国民の権利が確実に保護されることになるでしょう。

将来の台湾は、すべての県と市がその特色に応じて発展し、地方創生事業を推進し、「バランスのとれた台湾」という目標を実現します。誰もが平和に暮らし、誰もが幸せに働けるようになるでしょう。

### 六、国結の力で、国を強化し続ける

親愛なる国民同胞の皆様、国の将来の発展にはあらゆる力が必要です。グローバル化と全方位競争の時代の中、どの国も単独で戦うことはできず、どの分断社会もうまく立ち向かうことはできません。国結すれば、私たちの歩みはより安定します。お互いをサポートすれば、私たちは歩む道はさらに遠くなります。国の存続と発展のため、民主主義の力ですべての国民を団結させ、国を強くしたいと考えています。

私たちは皆、主権があつて初めて国が存在することを知っています。中華民国憲法は、中華民国の主権はすべての国民に属し、中華民国の国籍を有する者は中華民国の国民であると定めています。このことから分かるように、中華民国と中華人民共和国は互いに隷属していないのです。誰もが団結して国を愛さなければなりません。どの政党も併呑されることに反対し主権を守らなければなりません。政治権力のために国家の主権を犠牲にしてはなりません。

世界でますます多くの国が台湾の国際参加を公然と支持しています。これは台湾が世界の台湾であり、世界の平和と繁栄にとって信頼できる力であることを証明しています。

全国民はエスニックグループに関係なく、また誰が最初に来たのか、誰が最後に来たのかに関係なく、台湾にアイデンティティを持っている限り、すべての人々はこの国の主人です。中華民国、中華民国台湾、或いは台湾のいずれであっても、これらは私たち、または国際的な友人が私たちの国を呼ぶ名前であり、それらはすべて同じ響きを持っています。お互いを分け隔てることなく、一致団結して世界へ邁進しましょう！

### 七、台湾が新たな世界を迎え 世界が新たな台湾を迎える

台湾が世界に向かって歩むと同時に、我々も世界が台湾に入ってくることを歓迎します。多くの新住民や外国人の人々が世界各地から台湾にやって来て、台湾のために新たな章を刻んでいます。私は、皆さんに感謝し、また敬意を表します。

今日、ここには、遠路はるばるやってきた海外の皆さんや帰国した台湾出身者がいます。みんな、行動することで台湾のことを応援しています。どうぞ、皆さん、熱い拍手で彼らに歓迎と感謝の意を表しましょう！

今晚、私たちは国内外の賓客を迎える宴会の開催地を台南に選びました。1624年、台湾は台南を起点とし、台湾のグローバル化を始めました。「台南400年」の歴史的瞬間にあつて、台湾はもつと自信を示し、勇敢に新たな世界に乗り出し、世界に新しい台湾を迎え入れてもらいましょう。

すべての国民の皆さん、私と一緒に、私や皆さんを育んでくれた母なる台湾に拍手を送りましょう。私たちはともに、自らの行動をもって台湾を守り、台湾を護り、世界に台湾を受け入れさせ、そして台湾を世界で尊敬される偉大な国にするのです！

ありがとうございました！



## 台湾立法院での「国会改革」法案

## 激しい対立と違憲訴訟



衝突の様子 (写真提供: 中央社)

台湾立法院は5月、「国会改革」をテーマとした法案審議で民進党と与野党間で激しく対立した。この法案をめぐる衝突は台湾国内で大きな注目を集め、現在多くの抗議活動が展開されている。また、民進党はこの法案が憲法に違反しているとして、憲法法院への提訴に踏み切った。

## 背景

立法院では、長年にわたり議会の透明性と効率性を向上させるための改革が求められている。今回の「国会改革」法案は、特に立法院の権限や運営ルールの見直しを図るものであり、国会内での議論や法案審議のプロセスを迅速化することを目的としている。しかし、野党はこの法案に対し「民主主義の原則を損なうものだ」と強く反発し、与党と対立した。

## 衝突の発端

国民党（野党）と台湾民衆党は5月、「国会改革」の法案に賛成したため与党民主進歩党との間で緊張が高まった。法案審議が進む中、5月17日に両党の議員が議場で物理的な衝突を引き起こし、6人の立法委員が病院に搬送された。



抗議活動 (写真提供: 中央社)

この日の審議は紛糾し、予定されていた法案の投票は一時中断された。

衝突の直接的なきっかけは、法案の審議プロセスに関する不透明性にあるとされる。民進党は、この法案が十分な議論を経ないまま強行採決されようとしていると非難し、特に国民党と台湾民衆党が法案を「密室で修正」したと主張した。一方で、野党側は「立法院の改革は必要不可欠であり、与党は議会の停滞を招いている」と反論した。

## 憲法法院での違憲審査

衝突が続く中、民進党はこの法案に対して「立法院の権限を超え、憲法違反の可能性がある」として憲法法院に提訴した。民進党の主張によると、国会改革法案は立法院の権限を拡大する一方で、司法の独立性や市民の参政権を侵害する可能性があるという。憲法法院では、与野党側と野党側双方の法的見解がぶつかり合い、今後の判決が注目されている。

憲法法院は6月、本件について初めて審理を開始し、法案の合憲性を検討する事となった。この審理の結果により、台湾の議会制度や司法



物理的な衝突 (写真提供: 中央社)



立法委員が病院に搬送される (写真提供: 中央社) の独立に対する影響が大きく変わる可能性がある。

## 抗議活動と市民の反応

この対立は議場内に留まらず、立法院外でも抗議活動が激化した。非政府組織（NGO）や市民団体が抗議を呼びかけ、数万人が立法院前に集結し、抗議の声を上げた。抗議者たちは「国会改革」法案の撤回を求め「密室政治」や「議会の形骸化」を非難するプラカードを掲げた。特に、今回の抗議活動は、10年前の「ひまわり学生運動」と比較されることが多く、象徴としてひまわりや百合の花を持つ参加者も見られた。

立法院周辺では5月21日に、最大3万人の市民が集まり、抗議活動が行われた。市民団体「経済民主連合」などが中心となった連日の抗議では「民主主義の危機」を訴える声が高まった。これに対し台湾政府は「国会改革法案は台湾の議会制度の効率化を目指すものであり、決して民主主義を脅かすものではない」と火消しに躍りとなった。

## 金子議員が訪台して

## 林外交部長と面会



林佳龍部長は、金子恭之議員と面会した (写真提供: 外交部)

台湾外交部林佳龍部長は8月26日、台湾台北市で自民党の組織運動本部長の金子恭之議員と面会した。台湾と日本の関係、半導体協力、日本の政治経済状況、地域経済統合について意見交換した。

林部長は「TSMCが熊本県に工場を設立し、半導体業界における両者の協力が円滑に進んでいます。これもひとえに金子議員のご支援ご協力の賜物です。自民党青年局長の現職中に台湾を訪問していただいた事に感謝します。また、台湾と日本の友好交流を促進し、広範囲にわたる影響に改めて感謝します」と述べた。

金子下院議員は「台湾と日本の関係は非常に友好的であり、特にTSMCが熊本県に工場を設立した事で、地元では台湾と熊本の友好関係が顕著に始まっております」と話した。また「台湾と日本は地理的に近く、国民の間



記念撮影 (写真提供: 外交部)

に親密な感情を持っています。今後、双方は外交と安全保障の関係を深めるべきであり、台湾と日本の友好を促進する架け橋としての役割を果たし続けることを望んでいます」と話した。

また、林部長は①台湾が環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)への参加を申請した事。②本年のCPTPPの議長国であるカナダが「オー克蘭ド三原則」に関する新たなガイドラインを提出した事。③加盟を申請するエコノミーとの非公式協議を開始する事などの三事案を奨励。「台湾のCPTPPへの早期加盟に対する日本の一層の支援と期待を待っています」と述べた。

金子議員は、熊本県選出の国会議員の重鎮で、総務大臣などの要職を歴任し、現在、日本の国会における台湾の国会議員の超党派組織である「日華議員懇談会」の幹事長代理を務めている。

## 駐日代表最後の会見で

## 遺憾の意



台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表

台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表は7月8日、代表の退任が決まった最後の定例会見に臨んだ。鹿耳島県奄美大島北西にある海上で日本の水産庁による取り締まりを巡り「8年間の在職中で初めての事でありとても残念」と遺憾の意を表した。「台日の間には漁業協定があり、相互の信頼関係も維持されている。通常、わが方の漁船が越境した場合、日本側はまず警告し退去を勧告するに止める」と述べた。

台湾当局によると7月5日、鹿耳島県奄美大島の北西およそ300キロで台湾漁船が漁業主権法違反（無許可操業）の疑いで水産庁の取り締まりを受けた。船には台湾人2人とインドネシア人6人が乗船しており、取り締まり方を巡り「度が過ぎていた」などの非難の声が相次いだ。

さらに謝代表は「台湾側が引いた境界線でも

同漁船は越境していた」とし「今回、日本側が船長の逮捕に至ったのは非常に例外的なケース」と強調。「日本は文明法治の国であり、法を犯せば逮捕される。GPSで漁船の位置を把握している」とした。このほか「当初は漁船が差し押さえられたとしたが、日本側が船長を連行して取り調べを行った後にも漁船はその場に留まった。釈放後に船長が日本側の船で現場に戻って漁船を出した」と説明した。

謝代表は「漁業協定について論争はあるが、今回の現場はそれに該当せず、当該漁船は越境した。日本側と相互尊重を保つことは漁民にとって利益であり、台湾で年に十数人が緊急救援を必要とするが日本側はそれに協力している。少数の違反は台湾全体および漁業界の利益を犠牲にするものであり、黙認はできない」と述べた。

## 参政党神谷宗幣党首ら議員連が

## 台湾台北市訪問



記念撮影

神谷宗幣参政党党首は8月28日、台湾台北市の市庁舎を訪れ、蔣万安台北市長と面会した。訪問団を結成し24人の同党の議員を引き連れて訪台したもので、台湾と日本の展望に向けた懇親が行われた。

懇親会は松濤広場公園で行われ、神谷党首と蔣市長を中心に、台湾と日本が抱える事案について質疑応答という形で実施された。台北市の

抱える「少子化」「気候変動」などの問題点に対する質疑に具体策を提示しながら「子育てにやさしい環境づくりに傾斜している」との回答があった。

神谷党首は「日本の政治家も若年化が進んでいます。9月には自民党総裁選があります。40代の議員も名乗りを上げています。今後、若い世代の活躍の場をどのように受け止め、その環



神谷宗幣参政党代表 (左) と蔣万安台北市長 (右) 境の整備について取り組まれている事がありました」と質疑した。

蔣市長は「若い人には国際的なビジョンを持って欲しい。台北市では今年6月に青年局を新設しました。若者への各種支援を実現するためです。7月には米大学との間で人的な交流を実施しました。今後は日本との交流の機会も図る構えです」との回答があった。

懇親会には蔣市長から神谷党首に記念品が贈呈され「台湾にお越しいただき感謝します」（蔣市長）と謝辞を述べた。

## 頼總統

## 大橋会長の訪台を歓迎



表敬訪問 (写真提供: 総統府)

頼清徳總統は8月27日、国家安全會議の呉則欽秘書長、台湾外交部の林佳龍部長同席のもと、日本の対台湾窓口機関である公益財団法人日本台湾交流協会の大橋光夫会長の表敬訪問を受けた。頼總統は大橋会長の訪台を歓迎するとともに、大橋会長が2011年の会長就任以降、長期にわたり台日関係の増進に寄与してきたことに感謝した。

頼總統は、2011年の大橋会長の就任以降、台



記念撮影 (写真提供: 総統府)

湾の対日本窓口機関である台湾日本関係協会と日本の対台湾窓口機関である日本台湾交流協会という2つの枠組みの下、台湾と日本が数々の協定やMOU（覚書）に調印してきたことに触れ、「台湾と日本の友好関係の発展は誰の目にも明らかだ」と述べた。また、今年5月20日に行われた頼總統就任式には日本から過去最多の議員が参列したこと、それ以来、現在までに台湾で会談した日本

の国会議員は40人を超えることなどを挙げ「これらは台湾と日本の関係の深化を象徴するもの」と述べた。また、今回の大橋会長の訪台が、台日海洋協力対話第6回の会合の出席であることを踏まえ「海洋の探索は国家の発展にとって重要。台湾と日本の海探分野で引き続き対話を続け、より多方面で協力関係を構築できるよう期待している」と述べた。

頼總統は、日本政府が台湾の国際参加を支持する立場を繰り返し表明していることに謝意を示した上で、台湾はこれからも「環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)」を含む地域経済統合への参加を目指すと同時に、日本政府との二国間貿易協定締結にも意欲を示しているとして、引き続き日本政府に理解を求めていきたいと述べた。

日本における中華民国大使館に相当する台北駐日経済文化代表処（東京都港区）では謝長廷代表が8年の任期を終えて帰国し、まもなく新代表である李逸洋氏が赴任することになっている。頼總統は、引き続き大橋会長の支持を得

て、ともに台日友好のために新たな局面を生み出せるよう努力したいと伝えた。これに対し大橋会長は、頼總統が「国家元首になる以前から、頼總統とは長期にわたり友好関係にあり、友人として親密な関係を築いていたとした上で「現在、台湾と日本が重要なタイミングを迎える中で、頼總統とともに台日関係を推進していくことを楽しみにしている」と述べた。また「台湾と日本は考え方や理念の大部分が一致しており、世界でも最も良好な二国間関係にある。これは世界に例を見ないので、世界各国の二国間関係にとって手本となりうる。自分は日本で常々、『日本は台湾のために何ができるか、そして台湾は日本のために何ができるか』と言っているが、お互いが相手を思いやり、その方向に向かって努力していけば、台湾と日本の緊密な関係は世界に誇れるものになるはずだ」と述べた。

## 容積率引き上げに承認印

柯氏は8月30日に自宅や事務所の家宅捜索を受け、31日未明にいったん逮捕されたものの、9月2日未明に保証金なしで釈放された。地方法院は当時、柯氏は容積率引き上げを多数決で決定した台北市都市計画委員会に出席しておらず、専門家でもないため、検察の証拠では犯罪事実を認定できなかったと判断していた。釈放された柯氏は、容積率が840%まで引き上げられた事実は、今年3～4月まで知らなかったと話していた。

その後、台湾台北地方法院が9月3日に抗告した。台湾高等法院は同日、柯氏が本当に全く知らず、疑いを持たなかったのか追求する必要があるとして、地裁に審理を差し戻した。

台湾民衆党は9月5日、賄賂の証拠なしに凶利罪の容疑をかけるなど、司法の公正性が損なわれていると批判した。黄国昌立法委員（昨年11月入党）は、柯氏の潔白を証明するだけでなく「新たな権威主義との戦いで長期戦になる」と語った。台湾民衆党の報道官は「緊急応変チームが対応を決定し主席の代理は立てない」と説明した。

柯氏は抗告しなければ、最長2か月、延長で最長4か月間勾留される可能性がある。凶利罪で有罪となれば懲役5年以上が科される。

柯氏が結成した台湾民衆党は、8月6日に結党5年を迎えたばかり。白をシンボルカラーにクリーンな政治をアピールし、青（国民党）か緑（民進党）の対立に辟易した若者の支持を取り込んできた。今年1月の選挙では、柯氏は総統選挙で敗れたものの、立法院に立法委員8人を送り込んだ。高雄安新市鎮（40歳、後に台湾民衆党を離党）が今年7月に横領で有罪の一審判決（8月に上訴）を受けたのに続き、カリス的存在の柯氏の汚職疑惑が発生し、一部支持者が離れつつあり、第三勢力の消滅を懸念する声も上がっている。

## 台湾民衆党柯文哲主席

## 勾留と面会禁止



台湾民衆党柯文哲主席の勾留と面会禁止 (写真提供: 中央社)



柯文哲主席 (写真提供: 中央社)

台湾第2野党、台湾民衆党の柯文哲主席（休職中）は9月5日、台湾台北市長在任中（2014年12月～22年12月）に、ショッピングセンター（SC）跡地の商業施設とオフィスビル「京華広場（コアパシフィック・プラザ）」開発計画をめぐる不正な利益供与の疑いで再び勾留され、身柄を拘置所に送られた。台湾台北地方法院は同日の審理で、柯氏が違法と認識しつつ容積率を法定の560%超まで引き上げ、開発事業者の威京総部集団に200億台湾元（約900億円）の不当利得をもたらしたとして、貪汚治罪条例の凶利罪違反の疑いが濃厚だと判断した。凶利罪で有罪となれば、懲役5年以上が科される。台北地裁は同日、証拠隠滅や口裏合わせの恐れがあるとして、接見禁止、通信禁止の勾留を命じた。

地方法院は▽柯氏が応曉敏・台北市議会議員（国民党）との食事会以降、京華広場開発案件に積極介入し、容積率引き上げを検討した台北市政府都市發展局（都委會）の局長から何度も違法になると指摘されつつ、承認印を押した▽威京総部集団の沈慶元・主席が違法な利益を分配した後、柯氏の妻や子の銀行口座に出所不明な入金があった▽柯氏の自宅の家宅捜索で、すぐにドアを開けず、柯氏のスマートフォンを押収したところ、トーク履歴が削除されていた—事や、柯氏の供述と、勾留されている威京総部集団の沈主席、応台北市議、彭振声元副市長の供述が一致しないことから、勾留を決定したとみられる。調査によると、威京総部集団の沈主席は当時、容積率引き上げのため、応台北市議に4740万円の賄賂を渡した疑いがある。



### 妻夫木さんが台湾観光のアンバサダーに就任 プロモーションビデオ撮影も

台湾交通部観光署は9月4日、日本人俳優の妻夫木聡さんを日本市場向けの台湾観光アンバサダー（2024-2025年度）に起用したと発表した。妻夫木さんが訪台して開かれた記者会見では、交通部観光署の周永暉署長が同署のキャラクター「啞熊（オーベア）」と澎湖国家風景区管理処のキャラクター「嚙熊（ハイベア）」のぬいぐるみが本人にプレゼントされた。妻夫木さんは、今回の訪台で5泊6日かけて台湾観光プロモーションビデオのロケを行い、北部、中部、南部、東部など台湾各地を訪ねてまわり、台湾特有の文化や自然景観に触れたという。

妻夫木さんは、台北金馬影展（台北ゴールデン・ホース映画祭）への参加や仕事を含め、これまでの10回以上は台湾を訪れている。映画のロケのため1か月以上にわたって滞在した経験もあり、台湾の風景、グルメ、出会った人たちの情熱など、すべてに良い印象を持ち、台湾に長期滞在したいという願望もあるという。このため、台湾観光アンバサダーのオファーがきたときは「迷うことなく引き受けた」という。妻夫木さんは「これを機に台湾の魅力や発見がまだたくさんあることを日本の旅客に知ってもらいたいと考えている。妻夫木さんは、台北金馬影展（台北ゴールデン・ホース映画祭）への参加や仕事を含め、これまでの10回以上は台湾を訪れている。映画のロケのため1か月以上にわたって滞在した経験もあり、台湾の風景、グルメ、出会った人たちの情熱など、すべてに良い印象を持ち、台湾に長期滞在したいという願望もあるという。このため、台湾観光アンバサダーのオファーがきたときは「迷うことなく引き受けた」という。妻夫木さんは「これを機に台湾の魅力や発見がまだたくさんあることを日本の旅客に知ってもらいたいと考えている。妻夫木さんは、台北金馬影展（台北ゴールデン・ホース映画祭）への参加や仕事を含め、これまでの10回以上は台湾を訪れている。映画のロケのため1か月以上にわたって滞在した経験もあり、台湾の風景、グルメ、出会った人たちの情熱など、すべてに良い印象を持ち、台湾に長期滞在したいという願望もあるという。このため、台湾観光アンバサダーのオファーがきたときは「迷うことなく引き受けた」という。妻夫木さんは「これを機に台湾の魅力や発見がまだたくさんあることを日本の旅客に知ってもらいたいと考えている。」



妻夫木聡さん（写真提供：中央社）



台湾観光代理人見面會

就任式記念撮影（写真提供：中央社）は今年の11月以降、日本のテレビ、インターネット、公共交通機関、屋外看板などを使って放送する予定。同時に日本各地で台湾観光のプロモーションイベントを開催し、日本人の台湾に対する関心を高める。イベントへの参加を通して実際に日本の消費者と交流することで、日本の皆さまにより台湾を好きになってもらい、それが実際の行動につながって台湾観光に来てもらえるよう期待を寄せている。

### 「黄土水とその時代」特別展が 東京藝術大学大学美術館で始まる



開幕式記念撮影

文化行政を担う台湾中央省庁文化部に属する国立台湾美術館と日本の東京藝術大学が共同で企画した展覧会「黄土水とその時代—台湾初の洋風彫刻家と20世紀初頭の東京美術学校」が9月5日、東京藝術大学大学美術館で正式に始まった。開幕セレモニーには文化部の李遠部長、国立台湾美術館の陳麗怡館長、東京藝術大学の日比野克彦学長、東京藝術大学美術館の黒川廣子館長らが出席した。同展覧会では台湾と日本の芸術家が手がけた58点の彫刻、絵画、そして文献などが展示される。2023年に国宝に指定された黄土水の代表作《甘露水》も初めて海外で展示される。同展覧会は9月6日から10月20日まで。



盛山正仁文部科学大臣の夫人から李文化部長へお祝いの手紙が渡された



「黄土水とその時代」特別展が東京藝術大学美術館で始まる

李文化部長は開幕セレモニーでスピーチ。就任100日目での初の外遊先に日本を選んだのは台日の文化交流のほか、さらに重要だったのは、黄土水が自らを育てた東京美術学校（現東京藝術大学）に里帰りするのにつき添うためだった、と説明し、「《甘露水》は海から隆起して生まれた台湾のように自信と慈しみに満ちた目で世界を見つめている」と述べた。また、西洋や日本などとの文化的交わりを経た台湾は常に「自分は何か」と問いかけてきたとし、このため文化部が2017年から推進する「台湾芸術史再構築プロジェクト」は台湾の真の姿を見つけようとするものである、と説明した。日本と引き続き協力して両国の文化を世界に発信していけるよう期待し「台日間

に外交関係は無いが、必ずや国交のある国を上回る緊密さで協力していけるはずだ」と述べた。日本の盛山正仁文部科学大臣の夫人から李文化部長へお祝いの手紙が渡された。盛山大臣から託された手紙は「黄土水は東京美術学校における台湾出身者初の留学生。日本政府主催の展覧会に入選した作品は、台湾の近代美術にとって先駆けとなる彫刻家の一人」と評価。今回その国宝《甘露水》をはじめ、大正から昭和初期にかけての西洋絵画や彫刻作品が、母校である東京美術学校で展示されることは「若い黄土水が日本でどのような留学生生活を送ったのか、どのような影響を受けて最終的に自らの芸術の道を確立したのかを知る手がかりになる」と展覧会の意義が記されていた。

### 頼総統

### 訪台の沖縄県立西原高マーチングバンドを歓迎



頼総統がドラムの演奏を体験した（写真提供：総統府）

う台湾の形をした抱き枕を部員全員に贈り、生徒らが台湾を好きになってくれればとコメントした。同校の新垣成美教頭は「今回の公演が必ずや台湾に多くの感動をもたらすだろう。この機会を通じて台湾と沖縄の厚い友情がより固くなり、日台の友好関係がさらに発展することを切に願っている」と語った。同部は昨年12月の「マーチングバンド全国大会」で金賞に輝いたほか、2022年にオランダで開かれた「世界音楽コンクール」のショー部門で優勝した経験を持つ。7月19日午前には超高層ビル「台北101」（台北市）で、同20日午前には「円山大飯店」（グランドホテル台北、同）でもパフォーマンスを披露した。

パフォーマンスを披露（写真提供：総統府）パフォーマンスを披露。頼総統は「とても感動した。あふれる元気や活力を台湾に届けてくれてありがとう」と伝えた。音楽会では自身も観客の一人として全ての出演者を応援すると述べ「同部のパフォーマンスが成功することを祈っている」と話した。また、生徒の手ほどきを受けた頼総統がドラムの演奏を体験する一幕もあった。頼総統はパフォーマンス後、自ら選んだとい

パフォーマンスを披露（写真提供：総統府）パフォーマンスを披露。頼総統は「とても感動した。あふれる元気や活力を台湾に届けてくれてありがとう」と伝えた。音楽会では自身も観客の一人として全ての出演者を応援すると述べ「同部のパフォーマンスが成功することを祈っている」と話した。また、生徒の手ほどきを受けた頼総統がドラムの演奏を体験する一幕もあった。頼総統はパフォーマンス後、自ら選んだとい

### 台湾京劇が25年ぶりに 横浜で公演



出演者と関係者による記念撮影

台湾京劇の日本公演「The Monkey King孫悟空Episode ZERO」の記者発表が9月18日、東京虎ノ門の「台湾文化センター」で開催された。横浜（KAAT 神奈川芸術劇場）で11月16日と17日の二日間開催するもので、日本人初の京劇俳優の石山雄太（49）氏が案内役として登壇し台湾京劇の魅力を紹介した。台湾における京劇の位置づけは「国家の財産」として大切に扱われている。

日本において台湾京劇は馴染みが薄いが、25年前の訪日公演に比べ今回の公演は「大規模となる」という。会見では、公演のオフィシャル・スポンサーの台湾企業「トレンドマイクロ」の共同創立者のジェニー・チェン氏も来日し「台湾の優れた芸術である貴陽劇を日本に紹介したい」と挨拶。また、台湾文化センターの曾錦龍センター長、トレンドマイクロ日本法人の取締役副社長



京劇役者の演技

大三川彰彦氏も挨拶した。案内役の石山氏は「拍手と掛け声の『ハオ（好）』は役者にとっては栄養剤であり、役者はそのために芸をする。是非、勇気を出して役者に声をかけて欲しい。舞台装置などは簡素化されているので、演者の細かい演技などを通して、想像力をもって観劇していただけたらと楽しみにしています」と鑑賞のツボも伝授した。その後、台湾京劇の役者3人によるパフォーマンスも披露され、本番さながら、出席者から『好』の声援が飛んだ。今回の公演は、京劇役者のアクロバティックな演技、そして中国での伝統的な京劇の伝統を継承しつつ、現代的にアレンジした演出など、魅力的な作品になっているという。

### 台湾旅行への日本人誘致イベント 「GO TAIPEI」が始まる



桃園メトロ空港港線（写真提供：桃園メトロ）

台湾台北市政府観光伝播局はこのほど、日本人旅行者向けの限定割引プログラム「GO TAIPEI」を近く開始すると発表した。期間は2024年9月2日より12月31日まで。多くの観光スポット・台北ブランドを組み合わせたパッケージで、遊び予約サイト「アソビュー！」とのコラボとして展開する。台北市内の観光スポットなどの商品を割

引価格にて販売する。対象は、故宮博物院、大稲埕コンテナマーケット、台北オープントップバス、オークラ プレステージ台北、ジャストスリープグループ、エアー航空など。詳細はアソビューのサイトで公開する。このイベントのアンバサダーには、日本の人気俳優・清原果耶さんを迎え、台北旅行の体験談を披露する動画も制作し現在公開されている。

### 新省庁「体育暨運動發展部」発足に向けて初会合



初会合の記念撮影（写真提供：行政院）



卓榮泰院長（写真提供：行政院）

台湾行政院は（卓榮泰院長）「国民体育日」の9月9日、新たな省庁である「体育暨運動發展部」の発足に向けてアドバイザー・グループの初会合を招集した。行政院の鄭麗君副院長

が議長を務め、卓院長が祝辞を述べるとともに、出席した諮詢委員（アドバイザー）らに招聘状を手渡した。卓院長は「体育暨運動發展部」の発足を指すことは与野党の共通認識であるとして、台湾立法院で関連の組織法が可決されれば、来年にも正式に発足するとの見方を示した。また、9月9日は「国民体育日」であり、これにちなんで初会合をこの日に設定したと明らかにした上で「行政院はパリ五輪後、「体育暨運動發展部」の発足に向けた準備に着手し、台湾のアスリートがスポーツ分野で輝く姿を世界に示すため、全く新しいスポーツ政策の策定に取り組んでいる。しかし、こうした目標を達成するのに政府の力だけに頼るのは十分ではない。ゆえに

諮詢委員（アドバイザー）たちの専門の力が必要なのだ」と説明した。卓院長は、諮詢委員に任命されたアスリートなどに「知っていることは何でも話して欲しい」と述べ、諮詢委員から得られた提言は若い世代の人、次世代を担う台湾代表選手たち、そして新しく発足する「体育暨運動發展部」のために実現していくことを約束した。行政院は同日午後、アドバイザー・グループを構成する諮詢委員48人のリストを公表した。行政院は9月19日と23日にもあと2回、アドバイザー・グループ会合を招集し「選手の育成とスポーツ産業」、「国際事務とスポーツ外交」についてそれぞれ話し合うとしている。



### 台湾企業三社 熊本県知事表敬で意見交換



表敬訪問の様子

台湾政府から出資されている台湾の金融機関、合作金庫創業投資股有限公司（袁中越CEO＝本社台湾台北市、台湾合庫ベンチャー）、台湾の医療機器企業の衡登電商股有限公司（陳振興会長＝医学博士、本社台湾台北市）及び熊本に本社を持つ台湾の不動産企業京本（錢妙玲取締役＝熊本県合志市）は8月5日、台湾と熊本の新たなベンチャー投資の強化を図るため合同で熊本県庁を訪れ、木村知事を表敬訪問し、意見交換した。



記念品の交換

台湾政府から出資する8つの国庫銀行の一つが台湾合庫ベンチャーです。一般的な銀行投資は、主に成熟した産業を対象にしますが、弊社はAI、バイオテクノロジー、半導体など新しい産業への投資に注視しております。今回の熊本訪問は、台湾の熊本との協力を深めるとともに、熊本に新たに「インキュベーター」を設立し、新産業の育成する機関として、投資の必要性

があるかを調査、そしてマーケティング兼ねての訪問です」と説明した。木村知事は「熊本県は現在、新産業の育成を重視しており、熊本大学にもインキュベーターのセンターがあります。設立を示唆するファンドの対象としては参考になる機関であると思います。日本は一般的に、企業に投資するうえで慎重論が根強いですが、実績のある台湾の投資機関からの協力を得る事ができれば、熊本の持つ多くの経験、実績そして知見などは存分に提供できます」と述べた。また「現在、注目されている産業は半導体ですが、熊本県は元来、医療、薬剤、農業などの産業分野に強く、力を注いでおりまして、一定の成果を上げております。半導体産業分野など、新たな産業分野で台湾とより融合する機運が高まれば、実用産業であろうと農業のデジタルトランスフォーメーションであろうと、県庁は県内の大学からの協力支援を得ることもできます。新たな投資や支援の取り組みに期待します」と述べた。これを受けて袁CEOは「木村知事の考えは台湾合庫ベンチャーの考えと似ています。今回の訪問はさらなる実現に向けた意見交換できました。今後、木村知事が台湾お越しいただける事を歓迎し、さらなる実現に向けた機会を作りましょう」と応じた。木村知事も「今後は頻りに台湾を訪れたい。飛行機で2時間の距離です。県の金融業界そして学校を率いて台湾を訪問したいです」と前向きな姿勢を見せていた。

### 台湾と伊豆トピカルフルーツの コラボビールが販売



台湾と伊豆トピカルミックスラガー

台北駐日経済文化代表処横浜分処の協力により、静岡県東伊豆町の熱川バナナワニ園と伊豆の国市の醸造所「反射炉ピヤ」がこのほど、台湾産マンゴーと園内で栽培されたバナナを使用した「台湾と伊豆トピカルミックスラガー」を共同開発した。9月20日より限定での本格販売に着手した。台湾と日本の果物を組み合わせた初のクラフトビールとして注目が集まるとみられる。このプロジェクトは2021年に始まり、これまでに5種類のビールが開発されている。観光地・伊豆の魅力が高める狙いがあり、今回は台北駐日経済文化代表処横浜分処の張淑玲処長の支援を受け、台湾産の「完熟愛文マンゴー」と熱川バナナワニ園の台湾バナナ「仙人蕉」を使用した。バナナはピューレ状に加工され、発酵過程の後期に加えられることで、ラガー酵母と共にフルーティーな香りと爽やかな味わいが引き立てられている。「台湾と伊豆トピカルミックスラガー」は、バナナの甘い香りが口の中に広がり、続いてマンゴーの濃厚な風味が楽しめる。ラガー酵母による爽やかな飲み心地が特徴で、フルーツの風味が際立つ。台湾の大鶏排（ダージパイ）など、揚げ物料理との相性



台湾と日本の果物を組み合わせた初のクラフトビールが目玉される見込みも

抜群という。すでに熱川バナナワニ園の公式オンラインショップで9月12日より予約受付が開始されており、9月20日からは同園の開園66周年記念に合わせて数量限定で販売が行われる。また、反射炉ピヤの公式通販サイト及び全国の酒販店や飲食店でも順次出荷を開始する予定。東伊豆町では、昨年「日台友好議員連盟」が設立され、台湾の観光地・九份を再現するプロジェクトとして、今年4月から熱川温泉街に800個のランタンが設置された。6月に開かれた「伊豆稲取金目鯛マラソン」では、台湾観光物産展も併設され、台湾特産品が販売されたほか、張処長も3キロメートルの競技に岩井茂樹町長と共に参加した。さらに、張処長は各年齢別ハーフマラソン優勝者を台湾の「台湾米倉田中マラソン」に招待するなど、日台交流の促進に貢献している。熱川バナナワニ園は、温泉熱を利用してワニを飼育する日本最大の施設であり、約16種100頭のワニを飼育している。また、5,000種以上の熱帯植物も園内で栽培されている。さらに、国内で唯一レッサーパンダの繁殖を行い、アマゾンマナティーを飼育する施設としても知られている。

### 「ドラゴンフルーツ赤肉種の日本向け初出荷」 記者会



記者会見の記念撮影（写真提供：行政院）台湾行政院の鄭麗君副院長が7月3日、台湾台中市豊原区を訪れ、台湾産ドラゴンフルーツ赤肉種の日本向け初出荷を記念した記者会見に出席した。鄭副院長は「この会見に出席し、台湾産ドラゴンフルーツ赤肉種が日本に輸出される歴史的な瞬間に立ち会えてうれしい。自分も含めた台湾の人たちが大好きなドラゴンフルーツを日本人たちと分かち合える日が待ち遠し



ドラゴンフルーツ赤肉種の輸出プロセスの紹介（写真提供：行政院）い。日本人たちが赤肉種のドラゴンフルーツを日本のお店で買えるようにするため、台湾の人たちは8年間努力した。とても長かった。生産農家、指導した台湾農業部、産業界、貿易会社など携わった人たちの努力に感謝したい」と述べた。鄭副院長は「日本がドラゴンフルーツ赤肉種の輸入を認めた事は、台湾産果物の栽培が



鄭麗君副院長（写真提供：行政院）ら検疫までの技術的な突破、ならびにコールドチェーン設備と運送過程での品質確保を示した証左。また、市場サイドで販促など全ての過程がシステムとして整ったため、今日の重要な時を迎えることが出来た。台湾の農産物貿易にとって重要なマイルストーンであると同時に台湾フルーツの輸出分野で大きなブレイクスルー。台湾フルーツが国際市場で認められている表れでもある」と説明。「関係者の努力によって安定供給が可能で品質も確保された農産物の輸出システムが築かれた」と感謝した。鄭副院長はまた「日本は台湾に対して最も友

好的で互いに信頼する貿易パートナー」と指摘。日本は長年台湾の農産物にとって最重要な海外市場で、2016年から2023年までに台湾産果物の日本向け輸出金額は4倍に増え、昨年は3,000万米ドル近くに到達。果物の対外輸出のうち日本向けが47.4%を占めるまでに拡大し、すでに日本は最大の市場になっていると説明した。「今回輸出が可能になったドラゴンフルーツ赤肉種は、日本市場で大きな可能性を秘めている。パイナップルに続いてドラゴンフルーツ

赤肉種が日本で再びブームを起し、日本人たちが台湾フルーツをいっそう好きになってくれることに期待したい」と話した。今後は「農業のための科学技術のブレイクスルーを用い、より多角的な市場開拓を進め、生産者が高品質な農産物を生産するのを積極的にサポートしていく」との政府方針を説明し「台湾の農産物を国際的にブランド化して農家の実質的な収入を増やしたい」との意向も示していた。

### 農業部が巨人軍と協力 東京ドーム初「台湾果物ブランドデー」



東京ドーム初となる「台湾果物ブランドデー」イベントを実施した台湾農業部が5月29日、日本のプロ野球球団・読売ジャイアンツと協力し、東京ドーム初となる「台湾果物ブランドデー」イベントを実施した。台湾の高品質なフルーツの特色をPRし、「台湾農業部の高官がドームで台湾のフルーツを贈ります」というアナウンスがドーム内に流れると、46000人の野球ファンから拍手喝采だった。東京ドームではこの日の公式戦ナイターで、セントラルリーグのジャイアンツとパシフィックリーグの福岡ソフトバンクホークスの交流戦

が行われた。試合開始前、農業部の胡忠一政務次長と農業部農糧署の姚志旺副署長、台湾のプロ野球球団、富邦悍将（ガーディアンズ）と楽天桃猿（モンキーズ）のチアリーダー各2人がグラウンドに入り、胡政務次長が日本版生産履歴のタグが付けられた台湾産パイナップルとマンゴーをジャイアンツに寄贈した。台日の友情を深めるとともに、台湾産フルーツを多くの日本人にお披露目した。「台湾果物ブランドデー」イベントでは、球場内の看板やテレビ中継を通して台湾産フルー



胡忠一政務次長が台湾フルーツを宣伝



記念撮影

ツを宣伝したほか、来場者先着1万人に台湾産フルーツのイメージに彩られた特製うちわをプレゼント。さらに入場ゲート付近には台湾産フルーツの展示ブースが設けられた。展示ブースでは、胡政務次長とスタジアムDJの高橋大輔さんがファンら消費者に食べごろの台湾産パイナップルを選ぶテクニックを伝授。また、チアリーダーらは実際にパイナップルを選んで手本を見せた時には、ブース前でカメラを構える多くのファンらが集まっていた。「我愛台湾、台湾加油（台湾を愛している、台湾がんば

れ）」と書かれたTシャツを着て応援する人たちもいたという。このイベントは、台湾のプロ野球リーグ「中華職棒大聯盟（CPBL）」が間に立ち、台湾の農業、CPBL、読売ジャイアンツの三者の協力のもと実現されたもの。台湾のパイナップルとマンゴーがちょうど収穫の最盛期であることから、農業部は特に高品質な台湾産パイナップルとマンゴーを厳選して、それぞれ40箱（各10キログラム）と20箱（同5キロ）をジャイアンツにプレゼントした。胡政務次長は報道陣に対し、農業とスポーツを結び付ける考えを示した上で、特に今回

のCPBLとジャイアンツのコラボレーションは「壮挙だ」と指摘。果物は台湾が誇る産業で「日本人にも人気のため46000人の観衆が集まる東京ドームはとても良い宣伝のチャンス」と説明した。「より多くの日本の消費者に生産履歴のしっかりした台湾産フルーツが日本に輸出されていることを知ってもらい良い機会だった」とも。なお、胡政務次長一行は同日午前「フーズマーケットさきさき多摩平の森」で台湾産パイナップルの即売会を開催。また、青果の大手サプライヤーのドーヨーファーマインド、東京さきさきなども訪問して意見交換を行っていた。

### 木村知事と郭経済部長が意見交換 熊本にサイエンスパークの実現



意見交換会の様子

台湾経済部郭智輝部長は9月24日、熊本県庁を訪れ、木村敬熊本県知事と意見交換した。「交通問題と人材の問題を解決すれば熊本が台湾のようなサイエンスパークになる可能性が非常に高い」（郭経済部長）と述べた。木村知事は8月27日に台湾を訪れた際、郭部長と意見交換を行い、台湾の半導体製造大手のTSMCの新竹サイエンスパークを訪問・視察した経緯がある。意見交換は非公開で行われたが、熊本での半導体関連企業の誘致に向けての課題などについて意見交換した模様。意見



木村敬知事（左）郭智輝部長（右）

交換後、郭部長は「熊本がサイエンスパークになる可能性は非常に高い。交通問題、人材の問題など、解決すべき懸念はあるが、将来は台湾のようなサイエンスパークになる」との見方を示した。さらに台湾の半導体関連企業の支援拠点については「九州地域を計画しているかほぼ熊本になるだろう」と示唆した。新竹サイエンスパークは、台湾政府が40年以上前より推進している政策の一つで、約1470ヘクタールの広大な敷地に600社を超える企業が誘致されている。現在は産学官が連携して技術革新を派生させている。

### 5県産の食品輸入規制をさらに緩和 日本流通の水準に

台湾衛生福利部7月23日、2011年の福島第一原発事故後に5県産の食品の輸入を原則禁止していたが、新たに規制を緩和する案を発表した。22年に検査証の添付を条件に実施した、一部を除いての解禁に続く緩和措置。実現すれば日本で流通する食品は全て台湾への輸入が認められることになる。これまで輸入した食品の検査結果は、全て台湾の基準に適合しているという。今後60日間のパブリックコメントを経て正式決定する。

新たな規制緩和案の対象となっているのは、福島、茨城、栃木、群馬、千葉の5県産の野生鳥獣の肉やきのこと類などで、原産地証明書及び放射性物質の検査証の添付が条件となる。なお、日本国内で流通が制限されている製品の台湾への輸出禁止は継続する。衛生福利部によると、国際的には、53の国（地域）が日本産食品の管理措置を講じている。これまで49の国（地域）が規制措置を全面解除したため、現在は、リスクのある製品輸入の停止



台湾衛生福利部が5県産食品の輸入規制緩和案を発表や放射線・原産地証明書を義務付けた国(地域)は4カ国(地域)のみとなっている。



# Digest News / May ~ September 2024

— 日台の出来事をダイジェストで振り返ります —

## May.15 高雄産パイナップル、今年も八王子市の中学校給食に

台湾産パイナップルの日本への輸入拡大に伴い、昨年に続いて高雄産のパイナップルが東京都八王子市の中学校38校に給食として提供された。5月9日と10日の2日間に14500人の教師・生徒が台湾高雄産パイナップルを味わい、台湾と日本の友好関係がさらに深まった。高雄市政府農業局は「八王子台湾友好交流協会との協力により、高雄産パイナップルを寄贈する事ができました」と語った。八王子市教育委員会は、生徒に高雄との友好関係を伝えるため食農教育教材を作成し、台湾の代表料理を含む給食メニューを採用。生徒からはパイナップルの好評が続出。高雄市への訪問希望も多く聞かれた。八王子台湾友好交流協会の黒須理事長は「八王子市長と会談して両市の長年の交流を振り返りました。未



八王子市の学校給食で提供された台湾メニュー (高雄市より)

来の世代に向けて台湾との国際交流が継続事を願います」と語った。

## May.27 台湾のWHA参加が8年連続で不認可

世界保健機関 (WHO) の最高意思決定機関である、世界保健総会 (WHA) はスイスのジュネーブで全体会議を行った。台湾の参加についての提案を審査し、中華民国台湾の国交樹立国であるセントビンセント及びグレナディーン諸島、ペリーズと、それに反対する中国、パキスタンによる「2対2の弁論」の末、議長が総務委員会の提案に従い、台湾をオブザーバーとして大会に招待することを求める提案を議題として取り上げ、これを拒否する決定を下した。



世界保健総会 (写真提供: 中央社)

## Jun.2 高雄 MRT と江ノ電がおやつカンパニー「台日観光電車プロジェクト」

高雄捷運公司はこの日、高雄市観光局の立ち合いの下、日本の江ノ島電鉄及びおやつカンパニーと「台日観光電車プロジェクト」の推進協定を締結した。高雄メトロは2016年から江ノ島電鉄と観光交流を行っており、今回のおやつカンパニーを加え、3社共同で台日観光客の相互訪問を促進する新たな取り組みを開始する。このプロジェクトは、高雄メトロのネコ隊長「蜜柑」、江ノ電の「えのくん」、おやつカンパニーの「ホシオくん」を共同キャラクターに起用して台日双方でラッピング電車を走らせるほか、特別パッケージのベビースターラーメンを発売するなど、多彩なコラ



高雄メトロ、江ノ島電鉄、おやつカンパニーが「台日観光電車プロジェクト」協定を締結 (高雄捷運公司フェイスブックより)

## Jun.18 台湾の特殊救助隊が日本の防災専門家と交流 救助能力の向上を目指す

台湾内政部消防署はこの日、日本から防災専門家を招き、地震後の救助活動に関する「2024 台日地震捜索救助業務研討会」を開催した。日本の専門家は、能登半島地震の事例を基に、救助隊の要請、装備や災害救助犬の運用、支援体制について提供し、台湾側の「特殊捜索隊」は、花蓮地震での経験を双方で見及び情報を共有した。台湾は地震の発生頻度が高く、1999年の「921 大地震」を機に「災害防救法」が制定され、特殊救助隊が設立された。今年発生した花蓮地震でも迅速な救助活動が行われ、通信障害や映像収集にドローンが活用されている。消防署は「日本との協力が



研討会の記念撮影 (内政部消防署)

## Jun.27 2025年の旧正月休みは9連休に 25年の行政カレンダー決まる

台湾行政院はこの日、2025年の「政府行政機関開公日曆表」を閣議決定し、官公庁の出勤日と休日を選定した。2025年の休日は115日で、6回の連休が含まれ、主な連休は旧正月の9連休 (1月25日～2月2日)、和平日を含む3連休 (2月28日～3月2日)、児童節及び民族掃墓節の4連休 (4月3日～6日)、端午節の3連休 (5月30日～6月1日)、中秋節の3連休 (10

月4日～6日)、國慶日を含む3連休 (10月10日～12日) となる。「政府機関調整上班日期處理要點」によると、旧暦大晦日の前日 (1月27日) は出勤日から休日に調整され、翌週土曜日 (2月8日) が振替出勤日となる。教育機関の「学年度行事曆」は主管教育行政機関が定め、民間企業の休日は労働基準法に基づいて労働部が規定する。

## Jul.1 豚熱ワクチン接種停止から1年、アジア唯一の豚の三大清浄地域目指す

台湾農業部は、台湾全域での豚熱 (CSF) のワクチン接種停止後1年が経過したため、世界動物保健機関 (WOAH) に「豚熱清浄地域」の認定申請を行うと発表した。台湾の養豚産業にとって重要な里程碑であり、すでに口蹄疫のワクチン非接種清浄地域に認定されている台湾は、アフリカ豚熱の侵入を防いでいる。WOAHの審査に通過すれば、2025年にはアジアで唯一、豚の三大畜産疾病の清浄地域となる可能性

がある。台湾では豚熱が「甲類」の家畜伝染病とされ、妊娠豚への感染は流産を引き起こす致死率の高い病気である。なお2005年以降は感染例が確認されていない。農業部は豚熱撲滅計画を3段階で進めており、すでにワクチン接種の全面停止と厳密なモニタリングを実施している。今後、清浄地域のステータスを得る事で、養豚場のコスト削減や国際競争力の向上が期待されている。

## Jul.15 戒厳令解除記念日 頼清徳総統が公文書公開状況を視察

台湾は1987年7月15日、戒厳令を解除した。1949年5月19日に発布された戒厳令は38年間続き、戦後の台湾に深い影響を及ぼした。現在、台湾ではこの日を「戒厳令解除記念日」として制定している。同日、頼清徳総統は国家發展委員会檔案管理局を訪れ、公文書の一般公開状況を視察した。視察後、頼清徳総統は公文書の能動的収集や原則公開を求め、情報の隠蔽を避けるよう指示した。また、檔案管理局の資料が「国民の歴史理解と団結を促すもの」と指摘し、国家の明るい未来に向けた努力を訴えた。



頼清徳総統が檔案管理局を訪れた (總統府)

## Jul.29 国際化学オリンピック2024、台湾代表は金2銀2獲得

第56回国際化学オリンピックに参加した台湾代表はこのほど、金メダル2個と銀メダル2個を獲得し、金メダル数で世界5位となった。今年の大会はサウジアラビアで開催され、90カ国・地域から327人の高校生が参加した。金メダルは国立台南第一高級中学の葛彦宏さん (個人順位7位) と呂家璋さん (同16位)、銀メダルは台中市立台中第一高級中等学校の陳鈞澤さん (同37位) と台北市立建國高級中学の林竣宇さん (同41位) が受賞した。台湾教育部によると、台湾の代表チームは大学教授の指導のもと、131校から選ばれた2,079人の高校生の中から最終的に4人が選出さ

れた。代表団は7月20日にサウジアラビアに出发し、29日に閉会式とメダル授与式が行われた。



メダルを授与された台湾代表4人 (教育部ニュースサイトより)

## Aug.3 立法院初のスポーツ国会外交 台湾と日本の議員がサッカー親善試合

台湾立法院の江啓臣副院長はこの日、国民党や民進党、台湾民衆党の与野党議員12人と日本の大分県でサッカーの親善試合を行った。日本側からは衛藤征士郎衆議院議員や他の国会議員が参加し、試合前に国歌斉唱や集合写真撮影が行われた。大分県知事も出席し、地元のサッカーチームとの交流も促進された。江副院長はこの親善試合の意義を強調し「日本のサッカー発展から学ぶ機会にしたい」と述べた。また、スポーツが国力や経済に与える影響についても言及し、スポーツを通じた国際交流の重要性を語った。今後、台湾と日本の関係

者が定期的にスポーツ交流を行うことを期待し、2025年には台中に新しいサッカースタジアムが完成する事を報告した。



親善試合の記念撮影 (立法院より)

## Aug.10 屏東県新園郷に新客船ターミナルがオープン

台湾南部に位置する屏東県の新園郷に、新たに整備された客船ターミナル「TAIWAN Hi 新園海洋航運園區」がこの日にオープンした。式典には蕭美琴副総統や台湾交通部、農業部の幹部、屏東県知事などが出席しお祝いをした。3.7ヘクタールの敷地に旅客サービスセンターや展望台などが整備され、屏東県の重要な港として、離島・小琉球とへのアクセスの向上を目指す。蕭副総統は「TAIWAN Hi」が地元観光産業の活性化や県民の誇りを育む」と期待し、地域資源を活用した文化の発展を願った。交通部の李部長は「TAIWAN Hi」の名称に込められた意味を説明し、小琉球との往来が便利になることを強調。「この新たな

ターミナルが屏東県の観光スポットとして、SNSでのチェックインの場にもなることを期待しています」と述べた。



TAIWAN Hi 新園海洋航運園區 (屏東県より)

## Aug.24 台湾と日本のフルーツの祭典に約10万人

日台高雄フルーツ祭が8月24日と25日に高雄市で開催された。日本台湾交流協会主催の3回目の祭りで、高雄での開催は初。100小間のブースで日本から直送された新鮮な果物やスイーツが販売され、初日は約4.5万人、2日目は約5.5万人が訪れるなど大盛況だった。開会式で高雄市の陳市長が「フルーツ外交」を通じて台湾の素晴らしい果物を日本市場にアピールする意義を強調していた。イベントでは日本人インフルエンサーが「一日店長」として参加し、台湾のファンらとの交流を楽しんでいた。女優の田中千絵さんは新鮮な果物を紹介し、料理系 YouTuber の MASA さんはハンゴ料理のデモを行うなど、多くの

人々が集まっていた。最終日には、日本の「盆踊り」が行われ、日本人と台湾人が一緒に踊るなど、交流を深める場となっていた。



台湾人と日本人が輪になって踊った (高雄市)

## Sep.3 國慶日のメインビジュアル公開 国旗と国花あしらう

10月10日の中華民国國慶日を前に、祝賀行事のメインビジュアルがこの日発表された。国旗の青と赤を用いた二つの「十」の間に、国花のウメがあしらわれ、「中華民國 生日快樂」のメッセージの中央には国旗のイラストが配置され、その下には英語で「Taiwan」を含むメッセージが描かれた。準備委員会の主任委員には立法院長の韓國瑜が務め「国民党が準備委を指揮するのは9年ぶりです」と話した。呉堂安秘書長によると「メインビジュアルは若手デザイナーによる複数のデザイン案の中から選ばれました。青色は自由と平和、赤色は愛国心と情熱を象徴し、台湾の未来に向けて共に努力する姿勢を表現しています。また、

ウメの花と現代的な線で革新と伝統を示し、中華民国の素晴らしい未来を追求する意図が込められています」と説明した。なお、デザイナー名は希望により公表していない。



國慶日のメインビジュアル

## Sep.12 桃園メトロが京成と提携でセット乗車券を発売

桃園メトロ (MRT) はこのほど、空港線と京成電鉄の特急スカイライナーに乗り乗できるセット乗車券の販売を開始した。セット券は通常より安価のため、台湾と東京を往來する旅行者には利便性が向上する。空港線は台北駅から桃園国際空港や高铁桃園駅を経由して桃園市の老街溪を結ぶ。セット券は片道利用で2780円、東京の地下鉄が24・48・72時間乗り放題になる「Tokyo Subway Ticket」や、台北メトロの72時間乗車券が含まれる。購入は旅行予約サイトを通じて可能で、使用時にはQRコードを提示して乗車券と引き換える。販売は

2025年8月31日まで。桃園メトロは多くの日本人旅行者に台湾を気軽に訪れて欲しいとしている。



桃園メトロ (桃園メトロより)

## Sep.20 鳥貴族の台湾1号店が正式オープン 以後毎年4~5店舗出店へ

居酒屋チェーン「鳥貴族」の台湾1号店がこの日、台北市に正式オープンした。合併会社の鳥貴族を運営する大成集團の韓寅副総統は「今年中に3店舗を出店し、今後は年間4~5店舗のペースで拡大する」との方針を明らかにした。1号店は台北メトロ中山駅近くの日系百貨店内に位置し、周辺エリアには若者が多く「交通も便利」とアピール。プレオープン期間中の平均客単価は約500台湾元だったため「台湾での展開には60店舗以上の可能性がある」と自信を示した。全商品100元に設定され、多くの食材は日本から輸入していると

いう。次の2号店は台北市の信義エリアにオープンする予定。



鳥貴族、台湾1号店が正式オープン (写真提供: 中央社)

## Sep.22 台湾プロ野球「中信」の周思齊が引退 葉天田中將大からメッセージ

今シーズン限りでの引退を表明していた、台湾プロ野球「中信ブラザーズ」の周思齊外野手 (42) の引退セレモニーがこのほど台北市の台北ドームで行われた。式典には葉天の田中將大投手からビデオメッセージも寄せられ、涙ながらに周に抱きつく後輩選手たちの姿も見られた。周は「彼らの涙で肩の部分がびしょびしょになってしまった」と笑いながら語り、最後は車に乗って球場を一周し、ファンに別れを告げた。周選手は2005年に台湾プロ入りし、中信を含む4チームでプレー。田中投手は2013年のワールド・ベースボールクラシック (WBC) で対戦した際「よく覚

えている」と振り返り、周の引退後も台湾やアジア、世界の野球界発展に尽力することを期待し「これからの成功を心からお祈りしています」とエールを送った。約20年間のプロ生活だった。



周思齊外野手 (写真提供: 中央社)

## 台灣新聞

《台灣新聞》為民營媒體、非政府發行刊物、以中立立場報導所有台灣和日本最新資訊。所有新聞報導和新聞照片、非本公司同意、嚴禁轉載刊登。《台灣新聞》同時提供報導資料銷售服務、如個人、團體有需要、敬請多多利用並洽《台灣新聞》。此外、個人、僑社團體或企業有採訪需求、活動企劃、平面設計和廣告刊登等媒體服務、歡迎直接洽詢《台灣新聞》。

「台灣新聞」は民間企業運営による媒体です。政府の刊行物ではありません。あくまでも中立の立場より、台湾と日本の各種の最新情報を報道しています。本紙に掲載しているすべての報道内容及び写真は、当社の承諾を得ない転載などは禁止します。一方、台湾新聞は報道資料の販売などのサービスを提供しています。必要な個人及び企業、団体の皆様は当社へお問合せください。また、イベント企画、デザイン、レイアウト、広告掲載等のご依頼がございましたら、ぜひ当社にお問合せください。「台湾新聞」社は以下の有料サービスも提供しております。ご利用ください。

《台灣新聞》提供以下付費服務：

- 企業廣告配合、僑社活動採訪
- 僑社團體網路部落格設計 (包含台灣新聞採訪報導使用權費用)
- 採訪照片提供
- 企業網站設計服務
- 企業廣告、華僑會社イベント取材
- 華僑會社団体インターネットブログ設計 (台灣新聞取材報道、使用費用権を含む)
- 取材写真提供
- 企業ホームページ設計サービス

欲合作企業、僑團請逕洽《台灣新聞》  
03-5917-0045或info@taiwannews.jp





### 東京僑宴國旗飄揚 蔣萬安市長感動並感謝僑胞做民間外交



紀念合影

【東京／採訪報導】台北市長蔣萬安受東京都知事小池百合子邀請，參加2024SusHi Tech會議，期間於5月17日於旅居關東地區的僑胞舉行僑宴，吸引不少僑胞參加，報名人數也很快就額滿，看到僑胞精心將現場佈滿國旗，讓蔣萬安相當感動，並感謝僑胞一直為政府做民間外交。

此次蔣萬安市長僑宴由中華民國留日台灣同鄉會、東京中山學會主辦，日本中華聯合總會、日本台灣商會聯合總會、華僑協會總會日本分會、東京媽祖廟、東京台灣商會、日本榮光聯誼會、日本林氏宗親總會共同舉辦，前駐日代表馮寄台、駐日副代表周學佑、僑務組副組長宋惠芸、東京媽祖廟董事長詹德薰等人都專程出席。

陳五福會長致詞時表示，很感謝蔣市長撥空參與晚會，市長也在此次論壇中充分表現台北市的力量，還有未來對城市的願景和推動方向，讓世界看到台北市，社長為人謙虛低調、事實卻是、非常有包容心，有這麼好的領導者是全民之福，現在市長在改變台北的天空，期待未來市長能繼續藉由經驗，引導國家走向更好的未來，最後也要感謝僑胞今晚的熱情參與。



僑胞與蔣萬安市長合影

蔣萬安市長致詞時表示，這次是上任以來，第一次造訪日本，這三天的行程中，今晚的僑宴特別有意義，看到現場掛滿國旗，僑胞身穿國旗裝，即便在海外打拼很辛苦，但熱愛台灣、熱愛中華民國的心沒有變過，讓他相當感動，也感謝僑胞一直以來在海外提政府做，好民間外交。

蔣萬安也說，第一天抵達東京時到自由民主黨拜會，台灣和自民黨能夠長期建立這麼深厚的感情，源自蔣經國1967年訪問日本時打下的夥伴關係。他見到前首相麻生太郎，這是兩人繼去年8月之後的第二次會面，談到麻生過去如何在許多政策上支持台灣，並表達台北市希望與麻生的家鄉九州福岡市建立更具體關係，包括締結夥伴城市等。

蔣萬安也分享，台北大巨蛋落成以後，曾



陳五福會長致詞



蔣萬安市長致詞

榮幸邀請到「世界全壘打王」王貞治開球，王貞治也跟他說，他覺得台北大巨蛋比東京巨蛋還要棒，之後順利舉辦亞洲棒球錦標賽，不僅是台北的驕傲，也是台灣的驕傲。希望未來除了國際大型棒球賽事，也能在台北大巨蛋舉辦各項演唱會與活動，能夠帶來的周邊效益無可限量，讓台北市站上國際舞台，成為國際一流都會。

晚宴則由前駐日代表馮寄台帶領乾杯，他表示過去因為蔣萬安市長的父親蔣孝嚴擔任外交部長，才讓他能圓當大使的夢，甚至是後來派駐到日本，這次能一同訪問日本讓他感到榮耀。在晚宴中即使蔣萬安市長行程繁忙，但仍逐一向每一桌僑胞敬酒，僑胞們也爭相合影，展現出蔣萬安市長的高人氣，最後僑胞們也高唱「台北的天空」，並揮舞國旗，讓場面顯得更加熱鬧。

### 日本台灣不動產協會理監事會暨懇親會 促進相關業界人士交流



懇親會紀念合影

【東京／採訪報導】日本台灣不動產協會於6月9日舉行理監事會暨懇親會，除了理監事會討論未來會的發展之外，懇親會也聚集了許多不動產業界相關人士，以及銀行支店長等，盼能以此促進各界的交流，讓大家達成雙贏。

濱田裕子理事長表示，希望藉這次活動讓大家能交流不動產投資和經營等，特別是現在日本景氣上升中，再加上日幣貶值，許多海外投資客都選擇購買日本的不動產，我們公司最近許多買主都是海外的客人，期盼大家能發揮夥伴的力量，達成雙贏的局面，就像我的公司名稱「三富」一樣，大家都贏，也請大家繼續給不動產協會支持。

駐日代表處僑務組宋惠芸副組長表示，近年來日本不動產業非常熱絡，日本台灣不動產協會為增進日本不動產業與相關業者交流，讓理監事拓展業務，可以見到濱田理事長的用心，而台灣和日本在文化、經濟等各方面交流密切，雙方關係飛躍成長，尤其是在災難時互相伸援，面對各種考驗，建立起不考撼動的身後友誼，這種善的循環在國際社會中是非常



濱田裕子理事長致詞

寶貴的關係，希望這份情誼可以永遠傳承。

日本中華聯合總會會長羅鴻健表示，濱田理事長在華僑界相當活躍，也為了各個僑會的發展盡心盡力，可以說是僑界的模範，也相信今天會聚集在這邊的不動產相關業者，都是對濱田理事長的信任，這也代表濱田理事長的人品相當優秀，未來如果濱田會長能繼續為日本社會和華僑貢獻，是我們僑界的榮幸，也期望日本台灣不動產協會能更上一層樓。

懇親會中，各行各業的僑胞、日方人士等也利用難得的機會交流，除了關東地區各僑領特別出席參加，還聚集了很多銀行的支店長、律師、司法書士、稅理士等，以及經營不動產的台灣社長等，交流氣氛特別熱絡。

### 千葉台商會會長王育琦正式上任 展現團結友愛強化商會組織



紀念合影

【千葉／綜合報導】一般社團法人日本千葉台灣商會於6月1日在千葉縣成田市舉行了第六屆第二次理監事會議。會議貴賓包括僑務組副組長宋惠芸、日本台灣商會聯合總會會長東鄉清龍、監事長藤田禮子及秘書長賴本勉。此次會議吸引了理監事及會員們的熱烈參與，充分展現了千葉台商會的凝聚力與活力。

會議期間，除了報告各種交流訪活動外，還進行了重要的組織決議。經全體理監事一致同意，王育琦被推選為新任會長，蔡美娟理事則接任副會長。這一決議象徵著千葉台灣商會的新階段，並為未來的發展奠定了堅實基礎。

新任會長王育琦在致辭中表示，感謝各位理監事及創會會長的信任與支持，未來將致力於推動會務，加強台日交流，尤其注重青年部的發展與宣傳，期望吸引更多台灣青年加入千葉台商會這個大家庭。王會長強調，將以積極的姿態迎接新挑戰，帶領商會邁向新的高度。

日總總會會長東鄉清龍表示，非常榮幸能夠出席此次地方會理監事會議，這不僅增進了總會



新任會長王育琦

與地方會的聯繫，也見證了千葉台商會的團結與和諧。東鄉總會長期望未來能有更多交流與合作，共同促進商會的進步發展。

創會會長濱田裕子對王育琦會長的接任表示由衷的感謝與祝福。濱田會長強調，王會長作為一般社團法人的代表理事，肩負著引領商會邁向新局面的重任。她期望副會長及指導會長們能一同協助，共同推動商會發展。為了表達心意，濱田會長特別準備了獎盃，期望在王會長的帶領下，千葉台灣商會能展現出更加光輝燦爛的表現。

會後，與會者參觀了由王育琦會長經營的株式會社アインホンの鮭魚加工廠。來賓及理監事們換上防護服後合影留念，並在工廠內詳細了解了鮭魚加工的流程。隨後，大家品嚐了由王會長精心準備的新鮮三色丼，享受了一場美味的饗宴。用餐後，全體理監事在多古町著名的繡球花園河岸散步聊天，享受自然美景，增進彼此感情。大家期盼千葉台商會能如同盛開的繡球花一般，團結友愛，持續茁壯成長。

### 代代木台灣 FESTA 體驗台灣夜市氣氛



開幕儀式紀念合影

【東京／採訪報導】代代木台灣FESTA於7月26日起至7月28日止登場，今年開幕儀式上更邀請到熊本熊和Musubi丸一同出席，同時今年以「台灣夜市」為主題，活動時間延長到晚上10點，再加上紅色燈籠等搭配，營造出台灣氣氛。旅居關東地區的僑胞也在現場發起連署，邀請日本民眾支持台灣加入WHO。

在開幕儀式上，代代木台灣FESTA執行委員會委員朱恭亮表示，很感謝大家在那麼炎熱的夏天參加活動，代代木台灣FESTA是為了建立起台灣和日本的連結，也是代代木公園每年固定的活動，今年已經邁入第七年，很感謝很多日本朋友的支持，也希望能藉由這個活動，加深台灣和日本的友好關係。

駐日代表處顧問張瑞麟表示，代代木台灣FESTA是台灣與日本文化交流重要的平台，有很多特別的企劃，透過觀光、美食、演出來宣傳台灣的魅力，也希望來場的日本民眾能有新的發現，也能讓大家留下好的回憶，今後也希望大家支持台灣和日本的友好關係，最近天氣炎熱，請大家也要預防中暑。

開幕致詞上日本台灣親善協會副會長並木正芳、東京都議會自由民主黨日台友好議員聯盟會長小磯明、僑務委員林月理、洪益芬也上台祝賀活動舉行，同時也邀請到熊本熊和Musubi丸出席炒熱氣氛，旅居關東地區的華僑也利用難得機會，上台邀請日本民眾支持台灣加入WHO。



代代木台灣 FESTA 登場



張瑞麟顧問致詞



朱恭亮委員致詞

這次活動為了營造出台灣夜市，特別有像射水球的攤位等，同時還有芒果冰、臭豆腐、鹹酥雞、雞排等各式各樣的美食，吸引不少日本民眾前來品嚐台灣美食，享受夜市熱鬧的氣氛，再加上精彩的演出，讓今年的代代木台灣FESTA更加熱鬧。

### 東京台灣商工會研修旅行 放鬆心情慶端午



懇親會紀念合影

【山梨／採訪報導】東京台灣商工會於6月9日至6月10日舉辦研修旅行暨第四次理監事會議，希望在開會討論會務的同時，也能透過旅行讓大家交流感情，以及慶祝端午節，同時也讓大家放鬆心情，迎接下半年的工作和生活，活動行程安排滿滿，讓大家度過充實的兩天。

理監事會議的部分這次除了討論到監事長的收費問題外，也針對出席率等進行討論，出席的理監事們都相當踴躍發言、表達意見，讓會議能如期順利完成，晚間則舉辦懇親會不僅讓大家有豐富的美食可以享用，還特別安排與東京台灣商工會有關的問答遊戲，讓現場氣氛變得更加熱鬧。

張素娥會長表示，很感謝大家在百忙之中，



大家享受採櫻桃樂趣

抽空來參加我們的研修旅行和會議，也感謝執行幹部的協助，讓這次活動能順利進行，明天剛好是端午佳節，這次除了會有，也希望能藉由研修旅行，讓大家可以交流，培養更深厚的感情，同時今年也已經過去一半，大家可以趁這次的旅遊好好休息，補充體力迎接下半年。

宋惠芸副組長表示，很感謝張會長在端午佳節舉辦旅遊活動，讓我們在海外的鄉親可以感受端午節慶氣氛，一解鄉愁，端午節也是我們台灣三大節慶之一，所以辦這個活動特別有意義。同時也要提醒大家台灣身處在局勢緊張的情勢中，要小心利用活動來包裝，誘導僑胞參加活動，進而成為宣傳工具，如果有不小心接



張素娥會長致詞

觸到的，一定要跟僑務組說，我們會再回報給僑委會說明情況。

旅行方面此次安排了忍野八海、號稱日本第一美的峽谷昇仙峽，讓大家能感受自然之美，也安排了朝倉淺間神社、山梨紅酒資料館，讓大家可以更加認識日本的歷史文化等，同時也安排採櫻桃體驗活動，新鮮可口的櫻桃讓大家都吃的不亦樂乎，也透過這次的研修旅行留下深刻印象，此次泰國台灣商會聯合總會榮譽總會長林舜政也特別參加，與東京台灣商工會的理監事們交流。



旅日眼科專家游泰慶醫學博士進行眼睛保健講座

### 世華日本分會 CEO 學院舉辦醫學講座 分享靈魂之窗保健常識



紀念合影

【東京／綜合報導】世界華人工商婦女企管協會日本分會於6月2日舉辦CEO學院商工學系專題講座，特別邀請旅日眼科專家游泰慶醫學博士針對眼睛保健及病變預防為題進行專題演講，分享靈魂之窗保健常識，吸引關東地區僑胞及世華理監事報名參加，台北駐日經濟文化代表處僑務組副組長宋惠芸應邀出席致意。

世華日本分會會長世玲致詞表示，現今社會人士長期使用手機及電腦，造成眼睛負擔及疲勞，今天很高興邀請游泰慶醫學博士解說，如何進行眼睛保健，讓我們在吸收資訊時，也可以好好保護眼睛。



會長世玲及副會長蕭俐蒞商工學系主任開場致詞

僑務組宋副組長致詞提到，世華姊妹活力無限，積極協助政府推動相關政策，尤其是5月4日在池袋車站舉辦捐血活動及呼籲日本友人支持台灣加入WHA等國際組織，再次體驗世華姊妹熱心公益、熱愛臺灣的立場，在此表達感謝之意。

隨後，旅日眼科專家游泰慶醫學博士就眼睛保健及治療為題進行專題演講，豐富的保眼常識及眼睛病變預防之道，讓參加人員收穫良多。演講結束後進行懇親會交流，世華姊妹也藉機交換保健養生之道，熱鬧非凡。最後進行理監事會議討論近期活動規劃，再度展現世華姊妹們充沛的精力。



### 世華日本分會與關東分會辦捐血活動 共募得14200ml熱血



【東京／採訪報導】世界華人工商婦女企管協會日本分會與日本關東分會響應總會號召，於5月5日在池袋舉行捐血活動，在世華姊妹的努力下募集46位捐血者前來，並有37位捐血成功，最後共募集到14200ml。同時日本分會與關東分會也在現場呼籲日本民眾，支持台灣加入世界衛生組織，橫濱辦事處處長張淑玲、駐日代表處僑務組宋惠芸也到場支持。

世華日本分會會長尹世玲表示，非常感謝我們日本分會所有的姊妹們來到現場，也感謝辛苦執行部辛苦的策劃，做這個非常有意義的活動，主要是配合我們總會6月19日的國際行善日，做這個非常有意義的活動，這

也是我們僑界的創舉，希望這個活動每年都辦，也希望所有僑會來支援我們，為我們台灣發生發光發亮。

世華日本關東分會會長鄭玉蘭則表示，我非常感謝我們世華姊妹這麼的熱心，這麼的早就來佈置會場，非常感恩大家對世華的共襄盛舉，希望姊妹們能秉持世華的宗旨精神，繼續持續慈善活動。

橫濱辦事處處長張淑玲表示，非常高興世華日本分會和關東分會可以來辦這麼有意義的活動，並一同呼籲日本民眾加入支持台灣WHO，他表示，我們日本和南伊豆町一直以來都受到臺灣的大家照顧，今天除了這個活動外，也會去參加其他與台灣相關的活動。



世華姊妹們呼籲民眾捐血



世華日本分會姊妹參與捐血活動



世華日本關東分會姊妹參與捐血活動

所以我們再次呼籲日本朋友，支持我們加入世界衛生組織。南伊豆町體部克仁也專程到場響應世華的活動，並一同呼籲日本民眾加入支持台灣WHO，他表示，我們日本和南伊豆町一直以來都受到臺灣的大家照顧，今天除了這個活動外，也會去參加其他與台灣相關的活動。

### 世華日本關東分會舉行理監事會 積極推動多項重要活動



紀念合影

【山梨／綜合報導】世界華人工商婦女協會日本關東分會於8月4日在山梨縣舉辦了第一屆第四次理監事會，會議邀請了橫濱辦事處處長張淑玲參加，共同討論並推動多項重要活動。

會議中，首先討論了即將於9月7日在大阪舉辦的東北亞例會大會，以及10月份在台北舉行的年會。鄭玉蘭會長特別強調，今年的台北年會將頒發華冠獎，並呼籲各位理事踴躍參加。接下來，會議針對年終忘年會的事宜進行討論，最終決定於12月22日至23日在東伊豆舉行。除了忘年會外，還將與東伊豆町的町長進行國際文化交流活動。

會議結束後，與會成員前往山梨縣著名的紅酒釀造廠勝沼ワインナリー品嚐紅酒並享用午餐。在午餐中，張處長表示，世華雖然



張淑玲處長肯定世華充分展現了姊妹情誼及女性的力量



鄭玉蘭會長鼓勵理事踴躍參加華冠獎

剛成立不到一年，但已經舉辦了許多對社會有意義的活動，包括能登半島的賑災捐款、花蓮地震捐款以及捐血活動等。在患難時刻，世華充分展現了姊妹情誼及女性的力量。

此次會議為即將到來的多項活動奠定了堅實基礎，並展示了世華日本關東分會在促進國際文化交流和社會公益方面的積極作為。

### 台灣週 in 橫濱2024登場 讓日本民眾認識台灣新魅力



開幕儀式剪綵



開幕式紀念合影

【橫濱／採訪報導】由日本林氏宗親總會舉辦的「台灣週 in 橫濱2024」於9月16日開始舉行，開幕式當天吸引不少關東地區的參加，今年也有不少台灣來的業者出席，希望透過活動，讓日本民眾認識台灣的新魅力。

開幕儀式上包括駐日代表處副代表周學佑、橫濱辦事處處長張淑玲、台灣觀光協會東京事務所所長鄭憶萍、參議員山泉月、橫濱市議會議長鈴木太郎、日華親善橫濱市議員聯盟會長橫山正人，以及神奈川、靜岡等地自治體首長、旅居關東地區的僑領等出席。

林隆裕會長致詞時表示，很感謝大家來參加開幕儀式，很感謝大家的協助和支援，讓活動可以順利舉行，這次有30個攤位，不論是飲食、販售、玩樂的攤位都有，且有不少是從台灣專程過來參加，以及台灣航空公司的機票抽獎活動，希望大家透過台灣週，可以讓大家知道台灣的新魅力，也让更多人到台灣旅行，促

進台日友好關係。周學佑副代表表示，很感謝日本林氏宗親總會舉辦台灣週活動，這次活動可以說聚集了關東地區很多好吃的台灣料理，並透過好吃的料理促進台灣和日本的交流和文化理解，希望每一位來場的日本民眾有好的體驗，再發現新的台灣魅力，也很感謝橫濱市役所和橫濱市議會對活動的支持。

張淑玲處長表示，就如同林會長所說，這次有很多台灣來的攤位，希望大家可以把握機會購買，因為數量有限售完為止，此外，現在台灣和日本的關係很緊密，也要藉這個機會感謝日本友人對花蓮地震的支援。張處長也藉由活動推廣近日將開始販售，由台灣和日本共同製作的台灣芒果啤酒，以及宣傳鳳梨果醬和將在橫濱舉行的台灣京劇孫悟空等。

接著則由山泉月參議員、鈴木太郎議長、橫山正人會長等人上台致詞，三人都表示對活



開幕首日吸引不少民眾前來



林隆裕會長致詞



張淑玲處長宣傳台灣鳳梨果醬

動的肯定，以及期待未來日本和台灣能有更緊密的交流等，橫山會長也提到，當初是因為疫情關係無法來往日本，讓日本民眾「台灣loss」，所以才決定在市役所舉辦台灣週。開幕儀式後，現場也安排了橫濱中華學院的舞獅演出，炒熱活動的氣氛。

此次台灣週活動除了有台灣料理的業者參加外，有不少業者是專程從台灣過來參加，販賣品項也很多元，像是台灣的茶葉、茶具、農產品、月餅、咖啡等物產，還有不少文創小物和台灣相關的週邊商品，以及展示台灣觀光、文化等介紹，同時購買到一定金額，還能參與抽獎活動，最大獎為華航與長榮的來回機票，吸引不少日本民眾前來。

### 日本中華聯合總會青年部烤肉活動 增進關東僑青情誼



紀念合影

【橫濱／綜合報導】日本中華聯合總會青年部8月31日在THE BBQ GARDEN in橫濱舉辦一年一度的烤肉聯誼活動，青年部準備的豐盛烤肉食材，吸引東京、橫濱、埼玉、千葉、琉球等地僑青攜家帶眷參加，橫濱處長張淑玲、駐日代表處僑務組副組長宋惠芸、僑務委員洪益芬、日本台灣商會聯合總會監事長藤田礼子、日本林氏宗親總會會長林隆裕、橫濱華僑總會副會長莫作強等亦出席，與僑青共享夏日烤肉樂趣。

青年部部長新垣昌人致詞表示，感謝大家出席烤肉活動，這次烤肉活動得到僑界很多前輩的支持和贊助，所以可以烤的東西非常多，希望大家藉這機會好好交流。

橫濱處長張淑玲致詞提到，原以為今天會因為颱風取消，結果颱風沒來，天氣也不是很熱，非常適合烤肉活動，非常感謝青年部



青年部新垣昌人部長致詞



張淑玲處長致詞

到橫濱舉辦烤肉活動，橫濱地區僑青非常活躍，這次可以跟關東地區僑青交流，真的非常有意義。

烤肉活動在宋副組長領導乾杯後正式進行，出席人員也紛紛使出烤肉本領，現場充滿烤肉香氣及歡樂的交流氣氛。此外，主辦僑團特別安排抽獎賓果活動，將活動帶到最高潮，豐富的抽獎獎品讓出席人員都大呼過癮，大家也相約明年再參加。

### 台灣連續四次登高阿波舞大會 盼吸引年輕力量加入



尹世玲會長盼未來有年輕力量加入

【東京／採訪報導】第65屆高門寺阿波舞大會於8月24日、25日登場，台灣連今年也連續四次參加，與關東、德島學生合同連一同演出，台灣連的登場也成功吸引日本民眾注目並加油打氣，台灣連也希望未來能有更多年輕力量加入，讓第一個外國人連可以持續傳承下去。

台灣連是由旅居在日本地區的僑胞組成，自2018年起，以第一個外國人連隊參與高門寺阿波舞大會後，除了因疫情取消舉辦外，每年都參與演出，對於能組團參加實屬不容易，僑胞們平時都僅仍利用工作空餘時間練習，但實際登台後的實力演出，也成功獲得日本民眾稱讚。

東京阿波舞台灣連日本總會會長尹世玲受訪時也表示，很感謝許多成員四年來的參與，但很可惜目前成員年紀都偏高，一直在思考該如何突破，不過也很高興這次有高雄醫學大學一同參加，但如果要持續增加成員的話，希望可以跟東京中華學校合作，利用課外活動學習阿



周學佑副代表到場為僑胞加油打氣

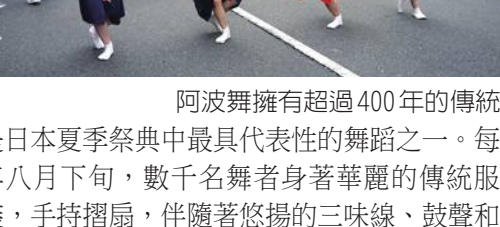
波舞，不僅能參與日本演出，也能到台灣交流，並持續傳承台灣連，此外也希望與鼓隊合作，再成立笛隊，讓台灣連變得更加完整。

此次的演出，駐日副代表周學佑也特別利用活動開始前的時間，專程趕到高門寺替僑胞們加油打氣，並感謝僑胞透過文化交流，讓日本看到台灣。此外這次華航日本本社社長李宜洲也受邀出席參加，他表示，這次是非常難得參與機會，這次很榮幸受邀參加，雖然僅有一兩次的練習時間，但是會長有拍影片讓大家練習，且阿波舞就是很簡單能上手，雖然會感覺累，但在跳的過程中非常愉悅。

東京高門寺阿波舞大會是一年一度的傳統文化盛事，舉辦於東京杉並區的高門寺地區，已有60多年的歷史。這項活動起源於四國德島縣的阿波舞，已有超過400年的傳統，



台灣連紀念合影



阿波舞擁有超過400年的傳統是日本夏季祭典中最具代表性的舞蹈之一。每年八月下旬，數千名舞者身著華麗的傳統服裝，手持摺扇，伴隨著悠揚的三味線、鼓聲和鉦鼓，沿著高門寺街道熱情舞動。舞蹈隊伍綿延不絕，充滿活力，吸引了來自日本各地以及國外的數十萬遊客前來觀賞。高門寺阿波舞大會不僅展現了日本豐富的文化傳承，也成為東京夏日夜晚的盛大節慶之一，讓人感受到濃厚的傳統文化氛圍與節日的熱鬧氣氛。

### 東京崇正公會睽違四年辦懇親大會 李克順接任會長盼發揚客家文化



東京崇正公會睽違四年再辦懇親大會

【東京／綜合報導】東京崇正公會於6月1日舉行第54屆懇親大會及新舊會長交接儀式，在駐日副代表周學佑的見證下，由劉南強交接給李克順，這次是自新冠疫情爆發以來，睽違四年再度舉辦，新竹縣長楊文科、苗栗縣副縣長郭桂菊也都專程到東京參與這次的活動，共約250人出席，場面非常盛大。

新竹縣長楊文科致詞時表示，東京崇正公會把東京、日本，甚至是全球的客家人凝聚在一起，要透過要透過崇正公會傳承客家精神，並且發揚光大，客家人有「硬腳掌筋」精神，肯幹、肯跑、肯拚。苗栗縣副縣長郭桂菊則表示，苗栗縣和日本持續共同推廣觀光，像是三義善山線鐵道自行車和日本信濃鐵道結盟，共同推出優惠乘車券，未來預計擴大與長野縣締結姊妹合作關係。

新任會長李克順接受媒體採訪時表示，未來考慮在春節、清明節、端午節，以及客家人獨有的「天穿日」等重要節日舉辦活動，例如端午節包粽子、過年做年糕、發糕、菜包等，希望以此來發揚客家傳統文化，讓更



在周學佑副代表(中)的見證下，由劉南強(右)交接給李克順(左)多日本朋友認識客家。

李克順會長過去是經營東京新宿的台灣料理餐廳「青葉」，25年前從日籍老闆手中接下餐廳後，經營得非常成功，不只是許多僑胞、僑團辦活動的選擇之一，過去也曾協助駐日代表處在官邸設宴接待森喜朗、麻生太郎、安倍晉三等貴賓。

駐日副代表周學佑也肯定東京崇正公會支持國家政府的各項政策，同時他也期盼今後客家鄉親持續為國家努力。受邀出席的東京都議員小磯明致詞表示，日本和台灣的關係切也切不斷，如同親戚一般，也可說日台是兄弟、家人。他說，受邀參加520正副總統就職典禮，當場他和夥伴都深覺台灣是個很棒的國家。

東京崇正公會是客家人在日本代表性團體之一，自1945年成立以來，經過改組擴大規模，目前有40多名理事，會員逾300人，在疫情前時常舉辦各式活動及協助政府推廣客家文化等，每年的會員大會更是備受注目，都能吸引不少僑胞或台灣貴賓參加。





### 世界華人工商婦女企管協會日本關西分會 舉行七週年慶祝晚宴



【大阪／採訪報導】世界華人工商婦女企管協會日本關西分會9月7日於大阪市瑞士大飯店舉行七週年慶祝晚宴，台日各界嘉賓雲集，共170多名參加。

與會貴賓包括駐大阪辦事處副參事劉拓、國策顧問陳天隆、謝美香、僑務委員暨世華日本關西分會創會會長俞秀霞、世華總會會長莊住維、全國日台友好議員協議會會長遠藤富士雄、大阪日台友好議員協議會會長長津淳子，以及各僑界僑領等，嘉賓雲集。

世華日本關西分會現任會長林伊曼於晚會中展示了該分會七週年成果，林伊曼會長致詞時表示，2024年日本關西分會喜事連連。首先，恭賀分會顧問陳天隆和名譽會長謝美香榮獲總統府頒發的國策顧問，同時恭賀俞秀霞會長，高票當選為世華總會第13屆的監事長。

林會長提到，日本關西分會積極推動多項社



會公益活動，希望帶領世華姐妹融入日本主流社會。包括舉行了豐富多彩的新年會；在疫情造成血荒之際，舉辦了捐血活動，幫助有需要的人。此外，今年夏天分送了新鮮台灣鳳梨給兒童養護設施和地方小學，推廣台灣農產品。另外為推廣性平，特別捐贈了生理用品，支持弱勢女性。

林會長也說，值得一提的是即將於9月28日在高野山進行的世界遺產登錄20週年紀念活動，世華日本關西分會作為後援單位，致力促進台、日文化和音樂交流，加深與日本當地社會的聯繫，歡迎台日好友前往共襄盛舉！

晚會中有一群來自台灣的美麗嘉賓，是由總會長莊住維率領30多位來自8個台灣地區世華分會會長、會員組成的訪問團。莊總會長致詞時表示，日本關西分會對世華的總會貢獻良多，尤其是去年日本關西分會大力協助總會主



總會長莊住維(左)祝賀日本關西分會週年慶圓滿成功



駐大阪辦事處副參事劉拓致詞

辦世華國際年會，有來自全世界的世華會員八百多人參加，在此代表總會獻上感謝。

晚會中準備了精彩的節目，有世華日本關西分會會員穿著和服表演精彩的櫻花舞，以及日本傳統舞蹈「よさこい祭り」，以及精彩的薩克斯風演奏等。

晚會開始前，日本關西分會特別聯合日本、關東、沖繩分會，舉行「華冠獎」得主的分享講座，四位華冠獎得主莊住維、俞秀霞、鄭玉蘭、新垣旬子毫不保留的分享其創業經驗，以及如何取之社會，用之社會，積極參與社會公益等經驗。精彩的分享使世華會員獲益良多。

晚會最後由第一副會長中西美姬致閉幕詞，七週年慶祝晚宴圓滿落幕。日本關西分會特別於次日為來自海外和外縣市的貴賓，籌劃了和歌山一日遊之旅，為所有遠道而來訪問日本關西的貴賓留下美好的回憶。

### 日本關西青商部 舉辦藝廊導覽及茶會活動交流熱絡



活動紀念合影

【京都／綜合報導】5月18日「日本關西臺商協會青商部」於京都市「gallery biga 藝廊」舉辦藝廊導覽及茶會活動，由部長許少峰主持，邀請藝廊主理人同時也是旅日畫家Viga進行藝廊介紹及說明臺灣紅(白)茶有機種植、自然栽培採茶等茶葉常識，並實地泡茶品茗，茶會結束後，由具餐飲專長的青商現場展現廚藝，西式料理讓與會者大快朵頤。出席人員包括駐大阪辦事處僑務秘書楊慧萍、日本關西臺商協會監事小林乃及二十餘位青商，活動不僅讓與會者對藝廊、臺灣茶有進一步的認識，現場交流互動熱絡，大家共渡輕鬆愉快的周末假期。

當天現場有不少參加者為首次參加青商活動，因此，活動首先由許少峰介紹日本關西臺商協會青商部、日本臺灣商會聯合總會青商部組成以及加入青商部資格等，並表示下半年已



此次吸引不少青商參加

規畫數項活動，鼓勵現場青商未來多參加青商部活動，藉此交流互動並拓展人脈。楊慧萍表示僑界人才濟濟，對於青商部規畫數項活動均邀請具相關專長的青商或僑胞擔任講座表示肯定，另簡要介紹僑務委員會業務並鼓勵報名參加青商相關研習活動。

本次活動講師Viga 旅日十餘年，畢業於京都藝術大學學院，於2023年開辦「gallery biga 藝廊」，除了展示自己作品，也經常邀請日籍畫家或臺灣藝術家參展，並規畫舒適的茶空間，提供臺灣茶與點心。Viga 向參加者表示，她的作品多半以溫暖童趣筆觸繪成生活點滴，希望透過藝術讓人感到幸福，同時也希望在這小小藝廊裡，用藝術促進進台日交流。

後續餐會由小林乃領導乾杯，場面氣氛活潑熱鬧，交流熱絡，大家也期待下一次活動再相聚。

### 彰化愛樂與近畿大學吹奏部交流 用音樂跨越國際和語言



近畿大學吹奏樂部

【大阪／綜合報導】在日本欣華會的邀請下，彰化愛樂室內樂團受邀前往日本，由國際崇她31區鄭富禮總監、國際崇她台中三社社長林靜宜、彰化愛樂樂團團長何彩薇、彰化愛樂團長吳俊良帶領60位團員暨家長，共計120位到日本參加8月23日舉行的「2024 彰化愛樂日本大阪台日交流音樂會」，與日本近畿大學吹奏樂部交流演出，並由陳雅智輔導社長暨伉儷、王健董董事長擔任日文主持人，鐘純青以中文主持，雙語進行讓音樂會中日語介紹曲目流程順暢，音樂會台日兩方由欣華會東良華珠副會長統籌安排，彰化愛樂演奏知名的台灣民謠「四季紅」、「西北雨」等歌曲，透過音樂的方式跨越語言障礙與國際，此次共有1000名以上的來場者。

日本欣華會會長李忠儒受訪時表示，很榮幸能促成祖國中華民國台灣的彰化愛樂室內樂團，與我母校日本近畿大學的吹奏樂部交流，世界各國使用的語言不同，若不了解對方語言，就無法進一步溝通，但是音樂是可以跨越國際交流，透過音色和旋律傳達心裡的想法，也能使人感動快樂，音樂不僅是世界上最共通



紀念合影

語言，也是促進和平的最好方法，雖然祖國中華民國和日本沒有邦交關係，但是我們在日本還是希望能盡一份心力，促進民間外交，也為友好交流搭橋。

彰化愛樂團長吳俊良表示，今年幾經波折終於能在疫後開啟日本的交流，讓學生拓展國際觀與全球文化視野，希望藉由國際交流活動，讓孩子們認識來自不同文化、語言、族群的音樂藝術風格。也希望透過公益演出，讓團員學會付出，顛覆大家過去對音樂人的刻板印象，因此在行前安排了連續兩天的演出，除了能讓團員精進技術外，也與大家分享音樂之美，希望能夠讓更多日本人從音樂當中，認識台灣。

為了此次交流能讓日本了解台灣的民謠特色，彰化愛樂準備了包括「四季紅」、「夜來香」、「西北雨」、「望見春風」、「鈺鈺銅仔」等膾炙人口的歌曲，近畿大學吹奏樂部則準備了迪士尼樂園的主題曲和「大阪LOVER」等經典歌曲。此次活動也獲得國際崇她31區台中三社、中華民國僑務委員俞秀霞協助，大阪辦事處，以及大阪台灣同鄉會、日本關西台商協會、世界華人工商婦女企管協會日本關西分會、近畿大學校友會食品支部、近畿大學校友



日本欣華會會長李忠儒致詞

會國際交流委員會、中華民國在日近畿大學校友會等關西地區僑團的後援，不少僑胞也專程到場聆聽美妙的音樂。

彰化愛樂室內樂團自2009年成立以來，為使古典音樂不再如此遙不可及，致力於推動彰化縣內音樂學習與欣賞之風氣，不僅長期在彰化縣各中小學舉辦校園巡迴，讓學童能近距離欣賞古典音樂，進而開啟孩子對音樂的興趣，同時期望藉音樂的潛移默化，培養人文氣質，目前每年定期舉辦樂團經典音樂會，透過舞台表演展現學習成果，豐富藝文生活，創造優質的音樂環境。除了舉辦定期音樂廳公演之外，也經常受各界藝文活動邀請演出並深獲好評。

近畿大學吹奏樂部歷史悠久，在1963年，由啦啦隊和音樂部組成的大學直屬的團體。1967年成為近畿大學吹奏樂部的獨立團體。在每年秋季舉行的全日本管弦樂比賽中，近畿大學吹奏樂部共參加了33次，並贏得了22次金牌。同時也積極進行海外巡迴演出，曾於1997年和2001年，參加了在荷蘭的世界音樂大賽中獲得了金牌。2016年9月在韓國舉行的七屆韓國國際吹奏樂節中，近畿大學吹奏樂部是第一支參加演出的日本的大學的吹奏樂部團體。2018年12月他們參加了在台北舉辦的「近大 EXPO in 台灣」。此外近畿大學吹奏樂部還主催公演定期演奏會和流行音樂會，及與初中和高中的聯合音樂會等，積極舉辦各種公演活動。

### 日本四國華僑總會廣發文宣面紙 籲請支持臺灣參加 WHA



高松機場內籲請支持臺灣參加 WHA

【香川／綜合報導】第77屆世界衛生大會(WHA)以「健康至上，共享健康」為主軸，將於5月27日至6月1日在瑞士日內瓦舉行。中華民國留日四國華僑總會為籌請各界聲援臺灣參加WHA活動，特別印製布條及五千包文宣面紙，除日前於四國香川縣琴平町商店街、5月16日於區區高松機場廣發，另將面紙寄送四國地區日親善協會等單位，期藉此籲請日籍友臺人士為臺灣重返國際公衛體系發聲。

四國華僑總會會長上島彩表示，健康是基本人權，也是普世價值，臺灣的全球醫療照護指數已經連續5年蟬聯世界第一，長年以來不遺餘力於促進健康與新興傳染病的研究與防疫，



發送文宣面紙予日籍人士

新冠肺炎疫情期間更積極協助各國醫療物資，臺灣有能力也願意為世界衛生貢獻一份力量不應該被排除在外。因此，她特地洽商製作五千包文宣面紙，上面印有2024年傳達「臺灣能幫忙」(Taiwan Can Help)，願與國際社會共同追求WHO宗旨的主視覺圖案，希望藉由一包面紙喚起也籲請大家對臺灣的支持。

高松機場內的日籍民眾以及航空地勤人員等均開心接獲上島彩贈送的文宣面紙，並表示臺灣是日籍的好朋友，能登半島及花蓮地震都相互捐款援助，且疫情期間互贈口罩及疫苗，他們均表示希望臺灣能早日參加WHA，以臺灣優異的醫療實力及經驗協助全球衛生安全的治理。

### 京都華僑總會包粽慶端午 現場熱鬧節意濃



現場僑民齊聚同慶端午

【大阪／採訪報導】中華民國留日京都華僑總會於5月26日於京都「京の食文化ミュージアム・あじわい館」舉辦「中華粽作り親睦會」活動，教導大小朋友們親手做粽子及道地臺灣菜等，並在製作完成後當場享用，此外還準備了賓果遊戲和精美禮品，讓現場的大小朋友有吃有玩，不亦樂乎。

會中先由京都華僑總會理事楊壁菁及村上智弘在台前示範包粽、酸菜排骨湯、蕃茄炒蛋及家常豆腐等道地臺灣家庭料理的做法，待示範完畢後，便來到大家親手製作的環節了，只見大家不分大人小孩，都開始安排分工，井然有序地著手料理起來，一道道有家的味道的美食隨即呈現在眾人眼前。

餐會除京都華僑總會會長魏禮之出席外，也邀請到多位僑領及日本政界友臺人士，包括大阪辦事處僑務秘書楊慧萍，京都日台親善協會常務理事松村裕樹，京都府議會日台親善議員懇話會會長秋田公司、事務局長青木義照、幹事大澤彰久，京都市日台親善連盟會長寺田一博、副會長津田大三。

魏禮之在餐前致詞表示，往年都是由中華料理師傅們的指導大家做菜，而今年希望能更多家的味道(媽媽的味道)，所以準備了酸菜排



眾人開心包粽及手作各式臺灣料理



大阪辦事處頒贈臺灣東部大地震捐款感謝狀

大阪辦事處頒贈臺灣東部大地震捐款感謝狀骨湯、蕃茄炒蛋，及家常豆腐這幾道菜，希望大家除了感受到端午節包粽子快樂的氣氛外，也能有家的感覺。

大阪辦事處秘書長洪洪傑處長出席時表示，近幾天中共在臺灣周邊所進行的軍事演習，除了向臺灣宣示中國大陸的主權外，已深刻的影響到鄰國日本，對此我方堅決反對中共一味的改變台海現狀，並希望在场的大家能夠支持臺灣堅決守護民主的決心。會中並由大阪辦事處頒贈臺灣東部大地震捐款感謝狀給京都華僑總會，由沈幸齡副會長代領。

餐會後現場也準備了「賓果」遊戲以及精美的禮品，參加者們都異口同聲說到很高興能夠在日本感受到過端午節的氣氛外，希望明年也能夠參加。如此熱烈的反應，也為活動畫上完美的句點。

### 日本關西媽祖會 舉行第二、三屆會長交接典禮暨會員大會



全體合影

【大阪／採訪報導】日本關西媽祖會於9月15日於大東洋中華料理舉行第二、三屆會長交接典禮暨會員大會，川野榮子順利連任第三屆會長，共31名來賓和會員參加。

到場嘉賓包括台北駐大阪經濟文化辦事處僑務組課長黃麗婷，東大阪市會議員野田彰子，天理市會議會副議長石津雅惠，大阪天水連連長廣田秀夫，大阪天水連會橋利沙等。

現場收到許多祝花慶祝活動圓滿成功，包括國策顧問陳天隆、謝美香，臺北駐日經濟文化代表處大使 李逸洋，臺北駐大阪經濟文化辦事處處長洪英傑，僑務委員俞秀霞、洪益芬，行政院政務顧問邱建富，日本台灣商會聯合總



川野榮子會長致詞

會總會長東鄉清龍，日本關西台商協會會長楊立寧，世界華人工商婦女企管協會日本關西分會會長林伊曼、日本欣華會會長李忠儒、沖繩縣貿易協會會長新垣旬子等。

川野會長在會員大會中報告，該會致力推廣媽祖慈悲精神，促進日台交流，除每月固定舉行台灣料理教室外，還多次寄贈鳳梨給東大阪市，天理市的弱勢團體，促進日台友好交好，另外在今年1月能登半島地震提供救災物資，雪中送炭活動共募得速食麵120箱，速食咖哩120箱，防寒保暖衣物680件，花蓮地震則募得救災金140000日圓寄付台灣紅十字會。

野田彰子議員和天理市副議長石津雅惠致詞



黃麗婷課長致詞



出席會員合影

時，均對日本關西媽祖會關心弱勢團體的行為，表示感謝。會中還邀請大阪天水連團員教大家跳阿波舞，賓主盡歡。最後大會在合影中結束。

第三屆媽祖會會員登記者有28位，會長由第一、二屆會長川野榮子會長連任，監事長為陳雪娥，顧問為新垣旬子，東鄉清龍，廖慶香。名譽顧問為陳天隆，張種德，林錫璋，野田彰子，上島寬弘，松本利明，石津雅惠等人。榮譽顧問是邱建富。



### 神戶華僑總會籌備紀念刊物 傳承80年來的寶藏與足跡



神戶華僑總會多次參加神戶祭，讓台灣的三太子走上神戶街頭

【神戶／綜合報導】中華民國留日神戶華僑總會於明年迎創立80週年的里程碑，為此神戶華僑總會計畫發行80週年紀念刊物，將神戶華僑的歷史傳承給下一代，同時也考慮如何活用神戶華僑總會的會館，希望能讓神戶華僑總會成為僑胞的心靈寄託外，也希望以此加深與兵庫縣和神戶市的交流。

神戶華僑總會創立於第二次世界大戰結束的1945年，在此之前就有許多華僑旅居在神戶，後來日本因為戰敗，導致社會處於動盪不安的狀態，在這樣的背景下華僑們面臨許多困難和挑戰，包括重建家園、恢復生意、維護團體團結等。熱心的華僑領袖決定成立一個組織，旨在團結華僑力量、互助合作，並促進華僑與當地社會的交流，中華民國留日神戶華僑總會應運而生。

早期的神戶華僑總會主要致力於提供生活和工作上的幫助，如協助華僑解決生活上的困難，並提供法律和行政方面的支持，像是提供護照的發行或家族證明等，輔助領事館的工作，同時也組織了各類文化和社交活動，幫助華僑保持和傳承中華文化，並促進社群的團結與凝聚力。

在神戶華僑總會成立不久後，購入位於神戶市

北野町附近的異人館做為會館使用，異人館在日本通常指具有獨特的西方建築風格，且結合了傳統日本元素，北野町附近有相當多異人館，神戶華僑總會購入的是於1909年興建，德國實業家的宅邸。

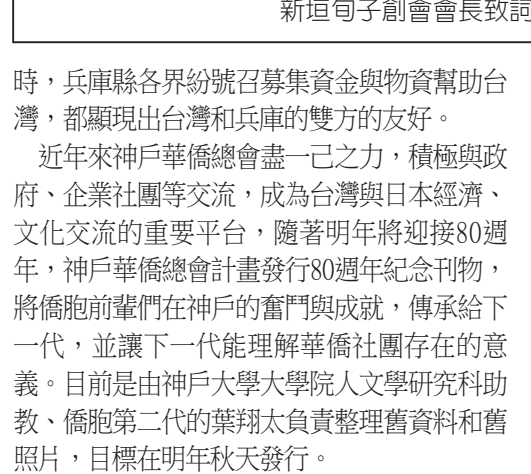
從1949年中華人民共和國建國，到1972年中共與日本建交，台灣與日本斷交，不少支持中共的僑胞選擇離開神戶華僑總會，另外成立了新的組織，現在留在會中的成員多為台灣出生者或其家族成員，以及在大陸出生，持有台灣護照，或是取得日本國籍的會員。

隨著社會的穩定，神戶華僑總會也從輔佐領事館業務，改為加重推廣文化交流與教育，不僅開設中文班、書法班、音樂課等，為華僑子弟提供學習中華文化的機會。每年也積極參加神戶當地舉辦的活動，像是最著名的神戶祭，神戶華僑總會更是藉由參加此活動，讓台灣的三太子走上神戶街頭，促進台灣和日本民間友好關係。

在1995年發生阪神、淡路大地震後，不僅台灣捐贈了義援金和物資糧食等，當時的神戶華僑總會會館也受損嚴重，獲得日本政府及神戶市政府的支援，才得以復原重建。台灣遭逢921大地震



蘇會長嘉全致詞



新垣旬子創會會長致詞

時，兵庫縣各界紛紛號召募集資金與物資幫助台灣，都顯現出台灣和兵庫的雙方的友好。

近年來神戶華僑總會盡一己之力，積極與政府、企業社團等交流，成為台灣與日本經濟、文化交流的重要平台，隨著明年將迎80週年，神戶華僑總會計畫發行80週年紀念刊物，將僑胞前輩們在神戶的奮鬥與成就，傳承給下一代，並讓下一代能理解華僑社團存在的意義。目前是由神戶大學大學院人文學研究科助教、僑胞第二代的葉翔夫負責整理舊資料和舊照片，目標在明年秋天發行。

神戶華僑總會會長高四代也表示，神戶華僑總會80年的歷史是很珍貴的寶物，需要將這份重要訊息傳達出去，同時也打造成能讓孩子們可以開心玩耍的地方。副會長江不正也說，神戶華僑總會對會員來說是不或缺的心靈支柱。

同時神戶華僑總會也計畫活用擁有115年歷史的會館，特別是會館過去在發生阪神、淡路大地震毀損，後來經過重建才回到當初的風采，只是因為外壁塗裝脫落等，產生維護費用等問題。不過，去年11月神戶華僑總會也參加了神戶摩登建築祭，開放遊客到非公開的地方參觀，約有2500人到訪。今後也想透過參觀行程或舉辦講座來募集資金，做為修繕維護費用。

### 世華沖繩分會成立大會 臺日貴賓雲集齊賀

【沖繩／綜合報導】世界華人工商婦女企管協會日本沖繩分會5月15日下午3時在那霸首里希爾頓逸林酒店舉辦成立大會，日本中華聯合總會會長羅會長鴻健、日本臺灣商會聯合總會東鄉清龍會長、世華總會莊總會長住維、柯杜瑞琴等多位名譽總會會長、俞秀霞等多位副總會會長以及來自臺灣及世界各地之世華各地分會會長與理事踴躍出席。沖繩縣副縣長照屋義實、那霸市市長知念覺、沖繩經濟同友會副會長瀨田美紀、那霸親善協會會長伊藝美智子、駐日副代表處周佑及駐那霸辦事處處長王瑞豐等應邀出席；臺灣日本關係協會會長蘇嘉全特地自臺灣至沖繩獻上恭賀之意。

下午3時創會典禮首先高唱中華民國、日本國歌及世華會歌，播放世華形象及僑委會徐委員長佳青祝賀影片，駐日副代表周學佑代表僑委會委員長頒贈賀狀予新垣會長，莊總會長住維頒贈會旗、印信及當選證書，最後由柯杜榮譽總會會長瑞琴帶領領事官宣誓。

晚間6時懇親會在人間寶琉球舞蹈家-玉城節子的優雅日本舞蹈開閉幕，新垣創會會長致詞表示，未來將致力凝聚沖繩地區臺灣女性僑臺商，深化沖繩與臺灣經貿交流，讓世華沖繩分會成為沖繩與臺灣及世界往來窗口。

臺灣日本關係協會會長蘇嘉全致詞提到，這



僑委會徐委員長佳青祝賀影片

次花蓮大地震，沖繩縣知事玉成知事特別贊助善款並致電慰問，前天特別去縣政府向玉城知事表達感謝之意。蘇會長另讚許新垣會長擔任僑社許多重要職務，樂善好施，相信在她領導下，沖繩地區女性僑臺商定能有所發揮。

世華總會總會會長莊住維在獻上祝詞時提到，非常高興世華第88個分會在日本沖繩成立，象徵臺日關係未來有更好發展，總會將致力輔導沖繩分會，為臺日經貿再創新局。

沖繩縣副縣長照屋義實、那霸市市長知念覺、沖繩經濟同友會副會長瀨田美紀、那霸親善協會伊藝美智子會長、沖繩縣經濟團體會議副會長山城博美等貴賓分別上台表達祝福之意，隨後進行開鏡儀式及日本臺灣總會東鄉清龍會長引領乾杯下正式開始，主辦單位安排精彩表演節目，帶動現場氣氛，沖繩分會也頒贈新任顧問聘書，期盼各界給予支持。



紀念合影

### 僑協日本分會理監事會 討論預定活動挺台加入WHO



【東京／採訪報導】華僑協會總會日本分會於5月11日舉行第四屆第二次理監事會，會中討論到接下來預定舉辦的活動，以及明年預定在日本舉辦的華僑協會總會世界聯誼大會等，林育良會長也特別感謝理監事們對花蓮地震的募款，會後一行人也到銀座街上呼籲日本民眾支持中華民國台灣加入WHO。

在理監事會中，僑協日本分會討論到七月七日配合僑委會的國際青年親善大使，共同舉辦七夕傳統文化飲食巡禮，希望藉此對日本年輕人行銷台灣，也讓下一代的年輕僑胞與台灣有所連結，同時也討論到今年十月將會組團訪台參加國慶，以及明年華僑協會總會預定要在日本舉辦兩

僑協日本分會上街呼籲日本民眾支持台灣加入WHO年一次的世界聯誼大會，會議中討論非常熱烈，大家都積極提供意見。

林育良會長表示，要感謝這次花蓮地震，本會有發起募款活動，一共募到230萬日圓，本會自從成立以來已經邁入第四屆，但會的功能還不是很完美，所以很感謝未副組長的關愛，將國際親善大使交由本會一同舉辦，每個會都有象徵性的活動，也希望大家提出意見，像是華僑節的活動等，成為僑協日本分會的活動，也希望藉由大家的力量把會做得更好。

宋惠芸副組長表示，華僑協會總會日本分會徹底貫徹在海外成立僑團的意義，像是在疫情期間，最高顧問林學明帶領下捐贈口罩和體溫



林育良會長致詞

計給日本政府，讓日本民眾感受到華僑的關懷，以及這次的花蓮地震的募款，再次感謝大家對台灣民眾的關愛，希望以此為契機，加深台日之間的友好關係，最後希望能透過國際親善大使來讓年輕人認識華僑、僑會，並參與僑協日本分會活動，促進僑會的傳承。

同時僑協日本分會也特別恭賀林學明最高顧問兼任僑務委員、藤田礼子副會長兼任僑務諮詢委員，並特別準備美麗的鮮花祝賀兩位，懇親會則是由榮譽顧問莊海樹帶領大家乾杯，僑協日本分會也特別安排豐富可口的的美食，讓每個人都直呼吃得很飽，最後則由名譽會長李維祥致結尾詞，會後僑協日本分會也特別到銀座的步行者天國，呼籲日本民眾能支持台灣加入WHO。

### 熊本縣木村敬知事稱台灣是熊本最親的國家 熊本人共同為花蓮災民祈福



紀念合影

【熊本／綜合報導】自台積電在熊本設廠，熊本當地對台灣的關注度大幅提升，「台灣」一詞成為時下最熱門的話題，不僅快速拉近兩地民眾的情誼，更讓台日兩國關係緊密友好。6月11日駐福岡辦事處陳銘俊處長夫婦應邀參加熊本縣木村敬知事親自主持的花蓮捐款致贈儀式，觀光戰略部倉麻里子部長及熊本麻理國際政策課長等人出席。

木村知事表示，台灣是近年來在熊本曝光度及知名度最高的國家也不為過，台積熊本廠效應，使兩地的經濟、教育、觀光緊密連結，台灣成為熊本最親的國家。熊本縣與高雄市2017年締結姊妹市，為擴大與台灣交流，盼進一步與台南市進行合作往來。本次陳處長的故鄉花蓮發生強震，深感震驚與憂心，盼熊本人的善款，帶給花



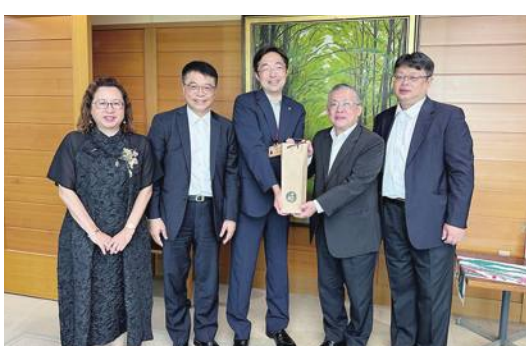
木村知事將善款交給陳處長

蓮災民勇氣與正能量，並祝福早日重建。

陳處長首先代表政府及花蓮災民感謝木村知事及熊本縣民對台灣的愛護與支持，並表示近年來充分體會到兩地關係日益緊密友好，且全方位的持續擴大。熊本縣正推動將熊本打造成像台灣竹科一樣的科技城，想必兩地的交流合作更加密切。台日產業具有互補優勢，雙方戰略合作將可強化兩國產業實力，在國際市場上共創雙贏。

陳處長也表示，知事提及盼與台南交流部分，今年台南市適逢建城400年，倘兩地方締結友好城市，相信能為台日友誼寫下精彩篇章。本人很欣慰台灣與九州之交流持續升溫，期盼熊本全面與台灣締結友好城市，各市町村議會會議成立台日友好議連，駐福岡辦事處將持續開拓多元領域實質合作，厚植兩國堅實友好關係。

### 合庫創投訪熊本 盼加深台熊新創投資合作



紀念合影

【熊本／採訪報導】伴隨台積電在熊本設廠，台灣與熊本之間的各層面交流越來越密切，為了加強台熊之間的新創投資等，合作金庫創業投資控股股份有限公司董事長袁中越於8月5日前往熊本縣廳，拜訪木村敬知事並交換意見，此次台灣知名醫學公司衡壹電商股份有限公司董事長陳振興、熊本當地台灣人企業家本株式會社社締錢妙玲也陪同前往拜訪。

袁中越董事長在拜會中首先介紹則合庫創投是由合庫金控百分之百持股的子公司，合庫金控旗下也有台灣政府有投資的八大公股行庫的合作金庫銀行，合庫創投跟一般的銀行投資



交換紀念品

方向不一樣，比起成熟產業，偏向於投資新創產業，產業涵蓋範圍包括AI、生技、半導體等，此次造訪熊本是希望加深深台合作之餘，也希望尋求是否有機會在熊本成立育成中心培養新創產業等。

袁董事長表示，木村知事的想法都與合庫創投相近，合庫創投也很願意擔任這個角色，但礙於這次拜訪行程較為倉促，無法與木村知事進一步詳談，因此歡迎木村知事下次造訪台灣時，也能到合作創投拜訪。木村知事也回應未來會更常造訪台灣，搭飛機也僅需兩個小時，有機會帶領縣內金融業、學校等拜訪台灣。



雙方交流意見盼深化合作



辻學園畢業生姐廖盈鈞(右)專程返校分享留學和工作心得



學員開心領取修了證書

### 台南光華高中和辻學園 進行課程交流和學習



台南市光華高中餐飲科學生與辻學園進行課程交流【大阪／採訪報導】在驪歌響起的季節，台南市光華高中餐飲科學生一行共18名，於3月17日在蔡毓玲老師率領下，來到大阪的「辻學園調理製菓專門學校」進行課程交流和學習。

「辻學園調理製菓專門學校」派出資深西洋料理教授西尾智治教導同學們披薩和義式口袋餅，並且邀請辻學園的優秀台灣畢業生廖盈鈞專程回母校來分享在日留學和工作經驗，廖學姐現任職於米其林二星京懷石料理「和久傳」，她表示從工作中，學習到日本的「おもてなし」的待客精神、和食文化的精髓，以及重視工作細節的重要性。建議同學們高中畢業以後，如果有興趣到海外留學和工作，不妨鼓起勇氣試一試。

整個過程學員們都很認真的作筆記，並且在



左起蔡毓玲老師、西尾智治教授、佐藤俊介校長、橫田文良顧問合影

西尾教授指導下，做出了美味的披薩和義式口袋餅。光華高中高二學生郭晉銘受訪表示，他對辻學園的專業廚房和新型設備留下深刻印象，也發現製作過程如酵母及麵糰的處理和台灣有些不同；另外他覺得日本學生非常重視禮節，見到老師一定會鞠躬和打招呼，和台灣的學生經常和老師打成一片有一些不同。

蔡毓玲老師表示，很高興疫情解封，海外交流活動恢復，讓學生有機會到國外來觀摩學習。海外課程交流和學習最大的意義就是可以讓學生有機會走出校園，看看世界有多大，同時也讓學生有機會展現不同的一面，例如她發現學生來到海外，學習態度變得更積極認真，生活上也更自立自強，相信學生們都會帶著滿滿的收穫回家。





### 日本榮光聯誼會創立50週年懇親大會 眾人齊聚歡慶場面熱鬧



紀念合影

【橫濱／採訪報導】日本榮光聯誼會於9月23日舉辦創立50週年懇親大會，活動原本訂於9月初舉行，但受颱風影響延期，不過延期仍吸引許多關東地區僑領、僑胞參加，國軍退役官兵輔導委員會副主任委員傅正誠也專程率團從台灣前來參加，駐日副代表周學佑、橫濱辦事處處長張淑玲也出席共襄盛舉，活動也特別模仿傳統紅包場，讓現場氣氛相當熱烈。

河道台理事長表示，今天是榮光會創立50週年，在1973年我們中華民國退出聯合國時，政府喊出「莊敬自強、處驚不慌」，因此當時的榮民前輩為了能凝聚僑民僑心，在退輔會的支持下召集日本榮民成立了日本榮光聯誼會，是全世界第一個，能在五十週年之際擔任理事長，我非常榮幸，也很謝謝大家參加這次的紀念大會，特別是傅副主任委員專程來到日本，展現對我們的重視，也請在座每一位繼續支持我們，讓我們在日本的僑民能繼續為政府拼國民外交、發展經濟。

周學佑副代表表示，回首前半生，讓我感到最驕傲的就是帶著真槍實彈開著戰車，在台灣海岸線風雨無阻，是人生最驕傲的時候，雖然辛苦，但想到在背後還有要守護的人民，我內心裡是帶著微笑來執勤，國家的和平、安定不是天經地義，社會的繁榮、自由、民主不是理所當然，是軍人默默地付出、全心奉獻，所以值得我們全民給予最高的敬意，也請大家給予掌聲。

傅正誠副主任委員表示，原本今年的9月1日要來日本參加榮光會的50週年紀念活動，但因為有更好的日子，所以我們昨天從台灣過來，參加完活動後隔天就回去，承如河理事長所講，退出聯合國後我們走務實外交，日本是第一成立榮光會的地方，現在在全世界有43個榮光會，日本是第一，也是第一個過50週年，所以讓我們非常驕傲，我們也重視榮光會的存在，盡力造就我們榮民榮眷，凝聚大家的向心力，榮民的精神會一直存在，我們也會一棒一棒傳承下去。

張淑玲處長表示，榮光會對我來講意義深遠，先父是榮民，所以我也榮眷，每逢過年過節，都會有很多榮民的叔叔伯伯來過節，所以參加榮光會就好像迎接了家裡的長輩，也很歡迎大家到橫濱。同

### 日本榮光聯誼會創立50週年懇親大會 2024年9月23日於日本橫濱



河道台理事長致詞



僑胞們與傅副主任委員合影



傅正誠副主任委員致詞

時張處長也藉此機會向日前舉辦橫濱台灣週時，給予幫助或參與的僑胞們致謝。

後續接著由日本中華聯合總會會長羅鴻健上台為榮光會帶來祝賀，緊接著由東京媽祖廟董事長詹德薰帶領眾人一同乾杯，為了炒熱現場氣氛，日本榮光聯誼會也安排以前歌廳的紅包場，安排表演者上台歡唱，同時也準備紅包袋讓僑胞們塞小費支持喜歡的演出，讓場面氣氛熱鬧滾滾，活動最後大家也一同高唱中華民國頌，為50週年懇親大會畫下圓滿句點。

### 昭和櫻返鄉首登北海道 落腳北海道神宮



祭祀儀式

紀念合影

【北海道／綜合報導】昭和天皇在擔任皇太子時期訪問台灣時所種植櫻花的樹苗，在日台友好櫻里歸（返鄉）文化交流會的推動下，於6月25日被移植到札幌市中央區的北海道神宮，並建立了紀念石碑。駐日大使謝長廷、札幌辦事處處長粘信士也專程到場，參與見證昭和櫻的植樹。該會今年也在山梨、群馬、靜岡、茨城、京都、熊本等地種植櫻花樹苗。

日台友好櫻里歸保存會為了將建立日台友誼的象徵，在全日本各地種植昭和天皇在台灣的櫻花樹苗，此次是第13次，在北海道則是首次。駐日大使謝長廷表示，希望能夠通過櫻花的植樹，繼續傳承日台之間的歷史羈絆。北海道神宮

的宮司間島譽史秀表示，希望當大家看到櫻花綻放時，能了解日台友好的歷史，並成為大家的休憩之所。

此次植樹的櫻花品種為寒緋櫻，從台北的陽明山引進。由於其開花期比札幌常見的櫻花要早，而選在北海道神宮也是因為北海道神宮是150多年前明治天皇開拓北海道時所建立，主要祭神是明治天皇和大國魂神，昭和天皇在皇太子時曾到訪植樹。昭和天皇在101年前的大正12年，以皇太子的身份訪問台灣。日台友好櫻里歸文化交流會也介紹到，當時昭和天皇抵達台北時，受到超過10萬人的迎接，台北當時人口為17萬，並巡視了台北、台中、高雄等地。

### 歡迎新任華航日本支社長李宜洲 日僑商界齊聚祝賀



餐會紀念合影

僑胞們與李宜洲支社長夫婦合影留念

【東京／採訪報導】中華航空日本支社由李宜洲接任支社長一職，原本張鴻鐘社長則返台擔任高雄空廚董事長，為了歡迎李社長的到來，台灣新聞社於7月3日舉辦歡迎會，邀請旅居在日本的台商僑胞朋友們參加，現場非常熱鬧。

台灣新聞社社長錢妙玲表示，我們日總台商可以在熊本插旗，並且於去年到熊本交流，要感謝過去李宜洲支社社長的努力，是由他協助牽起熊本和台灣的航線，自己本身也很常搭乘華航，相信華航的服務是大家有目共睹，也積極服務僑胞往返日台之間，希望李宜洲支社長來日，繼續開發新業務，讓華航營運在日本更上層樓。

李宜洲支社長表示，其實我跟日本淵源很深，很久之前就想到日本，這次終於能順利如願，未來我們公司跟各地台商僑界會保持密切互動，目前華航在日本有十個航點，未來也會繼續復飛更多航點，希望台商僑胞朋友們能繼續支持華航。隨後多位關東地區僑領會長也上台祝賀李宜

洲支社長，餐會在乾杯儀式後正式展開，與會僑領，僑民與李宜洲支社長歡談，大家把握難得的機會跟好友，同鄉盡情交流，享用美食、美酒。

李宜洲支社長致詞



台灣新聞社社長錢妙玲致詞

洲支社長，餐會在乾杯儀式後正式展開，與會僑領，僑民與李宜洲支社長歡談，大家把握難得的機會跟好友，同鄉盡情交流，享用美食、美酒。

### 台灣珍味文學展 透過美食認識文學



開幕記者會紀念合影，展覽現場也特別擺放台式辦桌

【東京／採訪報導】文化部駐日台灣文化中心與國立台灣文學館合作，從8月6日起舉辦「飽讀食書—台灣珍味文學展」，在台灣文化中心登場。本次的展覽展出20位台灣作家描寫美食的日譯摘句，帶領大家從多元的飲食樣貌及書寫，認識台灣各具特色的作家及作品。

活動於8月6日舉辦盛大的記者會活動，包括駐日代表謝長廷，以及日本多位大學教授翻譯家等文學界相關人士出席，同時也特別請到台南的阿霞飯店主廚吳健豪來演繹本次展覽中所收錄的一道菜色「紅粿米糕」，響應詩人焦桐在著作《味道福爾摩莎》中提到的內容。

謝長廷也於8月7日將卸任返國，此次開幕記者會是他參加最後的活動，他表示，這次的活動台灣文化中心和台灣文學館合作，將台灣的文學和料理結合在一起介紹給大家，就像今天特別介紹到的紅粿米糕，是台灣文化的待客之道，很常與料理一同表現出來。

謝長廷也說，近年台灣和日本的關係很好，特別是在文化、經濟、運動等層面有緊密的交流，



現場也邀請阿霞飯店主廚吳健豪來演繹紅粿米糕



展覽透過台灣美食介紹台灣文學



駐日代表謝長廷(左)也特別出席，右為新任台灣文化中心主任曾鈺龍

之外，收錄與「飲食相關」的台灣文學作品，展出中文實體書籍，並以日文介紹，期能推廣外譯。「體驗風土滋味」區則透過台灣文學館所出版的漢詩繪本、經濟部商業局的台菜介紹影片，向觀眾介紹傳統漢詩及新潮的台菜。

除了至8月30日的「飽讀食書-台灣珍味文學展」靜態展覽，台灣文化中心也與誠品生活日本橋合作，於8月7日在該店現場製作紅粿米糕，同時誠品生活日本橋也會配合活動，展出本次參展的書籍，將台灣文學透過美食介紹給更多日本民眾。

在地的13家日本旅行社與6家航空業者合作，推出多種旅遊台灣產品，提供了一個深度體驗台灣豐富自然與文化的機會，彩繪車廂從6月7日至9月28日行駛，運行路線為京急電鐵的羽田機場~東京都內、成田機場方向(與都營淺草線、京成線、北總線銜接)，以及京岳寺站~三崎口站之間等。

觀光署表示，京急電鐵與台灣鐵路局(現為國營台灣鐵路股份有限公司)於2015年2月締結「友好鐵道協定」。直到現在雙方仍為促進台日交流而持續宣傳鐵道旅行的新魅力。2016年起羽田機場第三航廈站內也開始設置台灣觀光的大型宣傳廣告牆，此外，在台日觀光交流人口大幅增加的潮流中，京急鐵道依然本於鐵道交流的招牌執行各式各樣的宣傳以及措施，為兩國相互送客有著莫大的貢獻。

觀光署也提到，因為過去在宣傳台灣觀光上的努力，京急電鐵會長的原田一之先生於2024年2月榮獲交通部觀光署頒發「台灣觀光特別貢獻獎」，並且以獲獎為契機，京急電鐵與交通部觀光署開始著手進行本次的台灣觀光特別彩繪列車的計畫，希望能藉此提升日本民眾的訪台意願，進而促進台灣日本雙方的交流人口發展。

### 京急電鐵台灣觀光特別彩繪列車 宣傳台灣魅力及促進觀光客造訪



紀念合照



出發式紀念合影

【東京／採訪報導】交通部觀光署在日本京急電鐵株式會社的特別協助下，從6月7日起開始為期兩個月的台灣觀光特別彩繪電車，前往羽田機場或成田機場都能看到台灣，以宣傳台灣魅力及促進訪台觀光人數為目的。

彩繪部分以交通部觀光署的宣傳標語「嗶嗶嗶嗶！台灣」為主軸，在車廂內的中吊廣告、車窗上方橫幅廣告都以台灣各地魅力無窮的觀光景點圖樣，另配合各家旅行社、航空公司的特別設

計，讓整班次的列車染上台灣的繽紛色彩。京急電鐵線路橫跨日本首都圈，希望能透過限定彩繪列車的運行，促進搭乘京急電鐵的乘客們訪台的意願。

台灣觀光特別彩繪列車的車廂內部延續車廂外的「台灣」藝術字體，組合成鳳梨車廂、茶葉車廂、跟隨花車廂，帶領人們抽離都市忙碌的生活、走進植物之中，共乘一片療癒之地。除此之外，車廂內部集結日本旅遊業之力，與

### 台日混血相撲力士東白龍關取昇進祝賀會 駐日代表謝長廷與僑界出席祝賀



東白龍關取昇進祝賀會



僑胞們也出席為東白龍祝賀

【東京／採訪報導】台日混血的相撲力士東白龍於5月3日在兩國國技館舉辦「東白龍關取昇進祝賀會」，慶祝他晉升相撲中的十兩級別，現場除了相撲界的相關成員外，駐日代表謝長廷，以及旅居在關東地區的僑胞們也出席活動，為東白龍祝賀。

駐日代表謝長廷表示，因為東日本大地震的關係，台灣和日本的相馬市、南相馬市建立起深厚的羈絆，再加上東白龍的媽媽是台灣人的關係，我才有這個榮幸出席這次活動，東白龍能達成如此的成就，是因為他的努力和熱情，以及老師家人前輩們的指導，特別是媽媽的支持，期待未來透過每天的努力和修練，讓身心都能更加強壯，並有更好的表現。

東白龍表示，這次的晉升不僅是靠我自己的力量，還有在一旁支援我的大家指導，很感謝大家，也希望之後大家能夠繼續給我支持，謝謝大家，雖然現在是十兩級別，但我將努力爭取在幕內站穩腳跟，並朝著更高的名次努力前進。

東白龍從小就開始練習相撲，在學生期間也曾獲得大大小小的獎項，後來在比賽中獲得三段目的資格，進而繼續往相撲界更高榮譽挑戰，首

先於2019年的比賽中贏得三段目優勝，晉升到幕下，後來雖然一度遇到亂流，但仍努力爭取，成功在2021年1月成功晉級到十兩的級別，進入到相撲界的關取，相當於職業選手，但當時因為新冠肺炎疫情的影響，才延至今年舉辦祝賀會。

十兩之後就是朝幕內的方向前進，東白龍也一度在2023年11月升上幕內，但在後來比賽中惜敗退回十兩，而關取中的最高殊榮就是眾所皆知的橫綱。此外，東白龍的母親是高雄出身，而東白龍是由「玉之井部屋」負責訓練，該部屋老闆玉之井太佑是福島相馬市人，在東日本大地震後，獲得許多台灣的援助，與台灣相當有緣分，因此也吸引很多僑胞出席祝賀。



駐日代表謝長廷出席祝賀



### 日本自民黨總裁改選 石破茂5度挑戰圓夢當選

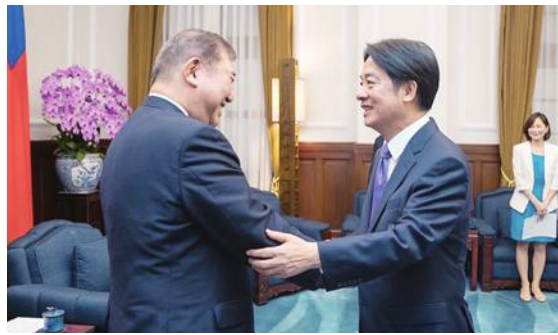


石破茂當選自民黨總裁(取自石破茂X)

【東京／綜合報導】日本執政黨自民黨於9月27日舉行總裁改選，此次改選是因現任首相岸田文雄任期屆滿而進行，但岸田首相發表不參加後，此次共有9人參選，為歷史最多。經過兩輪投票後，由石破茂勝選，將於10月1日的臨時國會中，進行首相指名選舉，並組成新內閣。

此次參選候選人包括經濟安全保障擔當大臣小林鷹之、自民黨前幹事長石破茂、數位大臣河野太郎、63歲內閣官房長官林芳正、自民黨幹事長茂木敏充、前環境大臣小泉進次郎、經濟安全保障擔當大臣高市早苗、前內閣官房長官加藤勝信、外務大臣上川陽子。

經過第一輪投票後由高市早苗以181票獲得第



賴清德總統會見石破茂(總統府提供)

一，石破茂則獲得154票列居第二，第三則為小泉進次郎獲得136票，但因為沒有任何一位候選人超過半數，因此由高市早苗與石破茂進行第二輪投票。

第二輪投票先由石破茂與高市早苗再度發表演說，隨後進行投票，全部368張議員票和47個都道府縣支部連合會各1票共415票，最終石破茂以215票贏過高市早苗194票，歷經五度挑戰當選自民黨總裁，並將獲國會指名成為日本第102任首相。

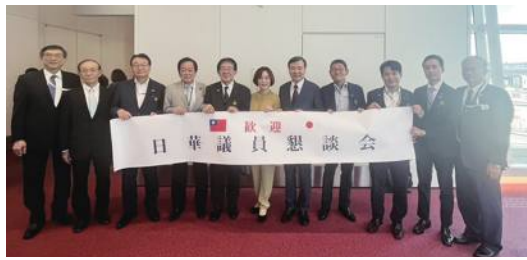
日本自民黨的重量級政治人物石破茂，出生於1957年2月4日，來自一個政治世家。其父石破二郎曾擔任鳥取縣知事、內務建設大臣及參議員等職務。石破茂的童年與少年時代多在鳥取縣度過，這

個位於本州西部的小縣人口較少，然而，這裡培育了他日後的政治抱負。畢業於慶應義塾大學法律系後，石破茂曾在三井銀行工作。然而，1981年父親去世，石破茂決定「子承父業」，並在1986年首次當選眾議院議員，之後連續12次成功當選，確立了他在政壇的地位。

石破茂的政壇生涯中，曾多次入閣擔任重要職位。2002年首次成為防衛廳長官，隨後在2007年福田康夫內閣中升任防衛大臣，並於2008年麻生太郎內閣時出任農林水產大臣。2012年，石破茂在第二次安倍內閣中擔任自民黨幹事長及地方創生大臣。石破茂一生的政治抱負是成為日本首相，然而他四度挑戰自民黨總裁，卻均未成功。其中兩次輸給了前首相安倍晉三。儘管如此，他於2015年成立了「水月會」(石破派)，繼續在自民黨內發展。

石破茂與台灣保持緊密關係，曾多次訪台。2022年7月，石破茂率跨黨派國會議員訪問台灣，與時任總統蔡英文會談，強調台日應在緊急情況下達成共識，尤其是在法律和軍事合作方面。2024年8月，他再次訪台，拜會總統賴清德，並警告應避免東北亞局勢演變為「明天的烏克蘭」。過去石破茂被認為親中，但在日前自民黨總裁候選人齊聚一堂討論中國議題時，石破茂稱應修改法律，若中國軍機侵犯日本領空，可進行「危害射擊」。

### 新任駐日代表李逸洋抵任 盼與日各界維護區域穩定與和平



日華議員到機場接機(駐日代表處提供)

【東京／採訪報導】新任駐日代表李逸洋於9月9日抵任，日本多位參眾議員、日台交流協會，以及旅居關東地區的僑領、僑胞都專程到羽田機場接機，現場場面相當熱鬧，李代表也提到第一個任務就是與日本各界一同努力，維持區域的穩定與和平。

此次接機日華議員懇談會由眾議員金子恭之、笠浩史、平沼正二郎，參議員山本順三、瀧波宏文、石井章等6人代表至機場，日本台灣交流協會理事長谷崎泰明也到場，此外旅居在關東地區等地的僑領僑胞也專程到機場，人數多到甚至引起一旁日本民眾注意，聽聞是台灣新任代表抵任，也都一同加入拍照，日本媒體也相當重視，包括NHK、TBS等各大電視台、新聞媒體到場採訪。

李逸洋代表表示，今天是我到日本就任，有多位的參眾議院，還有日本台灣交流協會谷崎泰明理事長親自來接機，事實上現在自民黨總裁選舉正忙碌中，立憲民主黨也有黨代表的選舉，他們能專程來接機，個人非常感謝，也非常感動。

李代表也說我們台日之間的關係，目前是處數十年來最好的時期，台灣跟日本都是患難與共，在災害、地震、疫情時，都在第一時間互相伸出援手，在這樣良好的基礎上，賴總統最近有講，



日華、日台交流協會、旅居關東地區僑胞都到機場迎接新任駐日代表李逸洋

要擴大民主保護傘，讓同享民主自由價值觀的國家團結在一起，維持區域安全穩定和平，這也是未來我來日本之後，要跟日本一起努力，共同讓區域維持安全穩定和平，這第一個最重要的任務，當然要靠各單位，以及在日僑胞、日本友台議員等大家一起努力。

東京媽祖廟董事長詹德慶受訪表示，李逸洋是一位很認真的大使，在國內政治活動時，基本上不會出風頭，可以說是腳踏實地的大使，雖然過去沒擔任過外交官，來日本以後是從零開始，但我相信李大大使能發揮能力，讓台灣和日本的外交關係更友好，我們華僑也會全力支持李大大使。

全日本台灣連合會會長趙中正除了稱讚李代表的日文外，他也提到，李逸洋讓人感覺很穩重，我們對他很期待，特別是在過去八年已經建立良好的基礎，未來不論軍事也好，安全也好，李逸洋大使都可以發揮自己的能力為台日服務，這是我們對他的期許。

李逸洋於1980年代曾與前總統陳水扁、前立委黃天福因「蓬萊島雜誌案」遭判8個月徒刑，被稱為「蓬萊島三君子」，後來曾任台北市議員、內政部長等職，在蔡英文總統就任以後被聘為考試院副院長和總統府資政，經驗相當豐富。

### 颱風無阻熱情! 日本台灣祭七年後重返上野成功舉行



日本台灣祭睽違七年舉辦

日本台灣祭於8月30日至9月1日登場，這也是睽違7年再度在上野公園舉辦，除了透過活動宣傳台灣文化和美食，也為年初的能登半島地震和0403花蓮地震募款，雖然碰到颱風珊珊的攪局，但仍吸引不少日本民眾前來，也有不少歐美遊客參加，成功增加台灣的能見度。

此次的日本台灣祭是繼2017年後再度回到上野公園舉行，今年以「復興支援之環」為主題，在活動現場設置募款箱，替能登半島地震和0403花蓮地震募款，同時也「幸福傳遞到胃裡，元氣傳遞到心裡」的口號，介紹台灣的文化和美食。

主辦單位台灣新聞社社長、台日文化交流基金



大家一同上台歡唱慶祝活動成功

代表錢妙玲表示，舉辦日本台灣祭一直以來是為了作為台日交流橋樑，後因為疫情等問題暫停舉行，但為了許多人的期待，決定再度回到上野舉行，也以此為開端，繼續為台日雙邊友好的關係努力，且也有許多歐美遊客參加，相信日本台灣祭能展現台灣的情感和人情味讓世界感受到。

原本颱風珊珊預計會橫貫日本，一路影響至東京，對此錢妙玲也表示，最初因為颱風的影響及考慮到民眾安全，已經做好中止的打算，所幸活動除了西北兩外，其他天氣都算穩定，在此也要感謝活動志工、出攤廠商、表演團體等人的努力，無論是面對風雨，還是頂著炎炎烈日，他們



紀念合影



錢妙玲社長感謝大家都堅持完成使命，才讓日本台灣祭圓滿成功，參加者都帶著笑容回家。

日本台灣祭今年也邀請台灣的「凱揚戲劇團」的歌仔戲、「金宇園掌中劇團」的布袋戲、「妙璇舞蹈團」舞獅等傳統舞蹈，以及森巴舞團「蘭陽森巴舞蹈團」等演出者前來表演，炒熱活動氣氛，各種台灣傳統藝術都讓日本民眾和歐美民眾感興趣，在表演舞台前看著目不轉睛。此外台灣的滷肉飯、小籠包、大雞排等經典美食，都讓參加者大飽口福，雪花冰、珍珠奶茶、水果茶等夏日消暑的甜點也大受歡迎。

日本台灣祭最早於2015年在於上野舉行，2017年舉辦第二次後，於2018年移師北海道札幌舉行，也是北海道第一個台灣祭，此外日本台灣祭除宣傳台灣外，也重視宣傳日本，因此2018年也曾於台北大稻埕舉行，將日本文化和美食帶到台灣宣傳。



議長由張碧華僑務委員擔任

### 2024年日本東京地區僑務座談會 關注防止假訊息散布和為台灣發聲



日本台灣商會聯合總會青商會

【東京／採訪報導】2024年日本東京地區僑務座談會於7月11日舉行，有將近100位僑務榮譽職人員等僑胞參加，此次關注中國的假消息散布，以及鼓勵僑胞與當地主流團體合作宣傳台灣等，晚間的懇親會駐日大使謝長廷也特別出席，這也是謝大使在返國前，最後一次參與東京地區的僑務座談會。

座談會先由周學佑副代表致詞，他表示，去年是7月6日舉辦，今天剛好是一年又五天，這一年來參加許多僑務活動，跟大家有更進一步的認識，希望大家能把握機會，透過僑務座談會集思廣益，讓僑務委員們能將大家的意見帶回僑委會的會議，最後也感謝大家百忙之中出席此次僑務座談會。

此次座談會由張碧華僑務委員擔任議長，張碧華僑務委員表示，我們在日本的生活相當艱難，但即使使回到台灣，經濟狀況也不太好，然而，無論處於什麼情況，我們對台灣的感情是永遠不變的，這是我們對台灣最核心的信念，也是我們堅持的步伐，希望這次的會議能聽取和總結各方意見，並在會議中提出寶貴的建議，再次感謝大家的合作。

這次會議中特別關注近年來中國不僅在軍事上加大威脅，同時也利用LINE群組等社群軟體，散佈誤導資訊，甚至運用網路傳播力打壓台灣在國際空間地位，因此希望僑胞能配合政府政策，

僑胞們與謝大使合影 避免轉簡體字影音，若看到打壓台灣的訊息，則可以通報僑務組，讓僑務組做即時的澄清。此外也提案為了支持台灣參加國際組織等，可以與日本當地主流團體連結，同時大家也發起討論，聯合各大僑團商會，在東京或關東地區舉辦大型的活動或遊行，或是與日本政治家保持友好關係，邀請他們支持台灣等。座談會也安排領務組的秘書前來，說明與海外僑胞關心的法規和手續等，解決僑胞的疑惑。

駐日大使謝長廷在懇親會中的致詞表示，感謝大家配合政府的政策，協助僑務工作的推動，也感謝因為自己已經做八年了，很感謝大家的支持和照顧，特別是在台灣需要幫助時，僑胞都第一時間團結起來支持政府，天下沒有不散的筵席，這八年的點點滴滴都是很好的回憶，我會珍惜這份緣分，也期待未來台灣和日本的友好，也請大家支持接任的大使。

懇親會則由莊海樹僑務諮詢委員帶領大家乾杯後正式開始，也因為是僑務座談會，集結了關東地區各僑團商會會長，以及僑務榮譽職等，因此大家也用難得機會互相交流等，同時大家也可能是最後一次的機會與謝大使交流合影留念，懇親會最後則由毛友次僑務諮詢委員致閉幕詞，大家也一同拍手歡送謝大使離開。

### 長榮航空日本航線30週年 攜手橫濱DeNA海灣之星隊舉行冠名紀念賽



陳啓偉社長開球

【橫濱／採訪報導】長榮航空今年再度與橫濱DeNA海灣之星隊合作，於9月23日舉辦冠名賽「長榮航空日本航線30週年紀念賽」，對戰東京養樂多燕子隊，邀請長榮航空日本支社長陳啟偉擔任開球嘉賓，並舉辦「擊出全壘打，飛往海外！」的活動，向觀眾贈送機票。每擊出一支全壘打，將抽出1名幸運兒，贈送長榮航空免費機票，雖然最終沒有擊出全壘打，但長榮航空原創商品很快就分送完，成功提升長榮的知名度。

支社長陳啟偉表示，長榮航空對於運動賽事的贊助或支持一直不遺餘力，今年已經是第5年贊助橫濱球場、橫濱之星這個球隊。特別在疫情期間，我們也沒有中斷贊助，無非是希望疫情之後能夠快速復甦。目前為止，我們觀察到效果還是蠻顯著的。如果因為這樣能夠在日本大幅提升長榮的知名度，我們覺得贊助這個活動賽事非常值得。

長榮航空自2020年起成為橫濱DeNA海灣之星的贊助商，期望透過合作，吸引更多職棒迷體驗長榮航空的服務。今年適逢長榮航空飛航日本30週年，為慶祝這一重要里程碑，特別冠名支持此次比賽。比賽當天，長榮航空也準備多項限量紀念



左起橫濱辦事處處長張淑玲、橫濱DeNA球隊社長木村洋太郎、長榮航空日本支社長陳啟偉、台灣新聞社社長錢妙玲

品及互動活動。前來參加的前20,000名球迷將獲得限量紀念扇，前1,000名球迷還可在橫濱體育場Y區4號入口旁的長榮航空攤位領取原創商品，比賽開始沒多久紀念品就全部索取一空。

球迷們還有透過SNS參與抽獎，贏得雙人觀賽門票及賽前活動參加權。在特別企劃中，如果橫濱DeNA海灣之星的選手擊出全壘打，將根據全壘打數量抽選幸運觀眾，贈送長榮航空免費機票，只可惜最後沒有擊出全壘打，橫濱DeNA海灣之星隊以3：4，一分之差惜敗東京養樂多燕子隊。



陳啟偉社長與吉祥物合影

感。特別適合搭配炸得酥脆的台灣大雞排等台灣料理。

目前於9月12日開始在熱川香蕉鱷魚園官方網路商店接受預購，9月20日則配合熱川香蕉鱷魚園66週年園慶限量發售，此外在反射爐啤酒官方網店、反射爐物產館田南、Hanshoro Beer Stand，以及全國的酒屋與餐飲店將陸續開始出貨。

此外目前在東伊豆町，不僅去年成立東伊豆町議會日台友好議員連盟，為了營造出台灣知名觀光景點九份，從4月6日起準備了800個燈籠，掛滿熱川溫泉街，今年6月舉辦的「伊豆稻取金目鯛馬拉松」中也設置了台灣觀光物產展，販售台灣特色物產等，張淑玲處長也受邀出席與岩井茂樹町長一起參與了3公里組的比賽，同時張處長也邀請男女各年齡組的半程馬拉松冠軍前往台灣參加深受歡迎的「台灣米倉田中馬拉松」，以及為活動的猜拳大賽提供獎品，加深日本民眾對台灣的友好印象。

熱川香蕉鱷魚園利用溫泉熱水飼養鱷魚並栽培熱帶植物，園內飼養的鱷魚種類數量是日本之最，飼養了16種約100隻鱷魚。園內栽培的熱帶植物多達5,000種。此外，熱川香蕉鱷魚園是日本唯一飼養與繁殖小熊猫的場所，也是日本唯一飼養亞馬遜海牛的地方。遊客還可在園內的水果冰淇淋店享用自家種植的香蕉和木瓜。

### 台日合作推出首款熱帶水果拉格啤酒 芒果結合香蕉進出濃郁清爽新滋味



張淑玲處長促成首款台日啤酒誕生，並在台灣週大力宣傳

【橫濱／綜合報導】在台北駐日經濟文化代表處橫濱分處的協助下，東伊豆町的熱川香蕉鱷魚園與伊豆國市的釀酒廠「反射爐啤酒」合作，開發了使用台灣芒果和園內香蕉的「台灣伊豆熱帶混合拉格啤酒」，並從9月20日起限量販售，也是首款台日水果結合的啤酒。

這項合作最早是於2021年熱川香蕉鱷魚園與伊豆國市反射爐啤酒展開合作釀造啤酒的專案，共計開發過五款啤酒，希望藉此提升伊豆觀光的吸引力，後來在台北駐日經濟文化代表處橫濱分處



清爽華麗的台灣伊豆熱帶混合拉格啤酒

清爽華麗的台灣伊豆熱帶混合拉格啤酒，進口台灣栽培的完熟愛文芒果，搭配熱川香蕉鱷魚園利用溫泉熱水栽培的台灣香蕉「仙人蕉」，香蕉製成香蕉泥並加入發酵後期，以及使用拉格酵母讓這款啤酒呈現出果香濃郁且清爽的口感。

「台灣伊豆熱帶混合拉格啤酒」入口時，可以先感受到香蕉的香甜蔓延，接著芒果的濃郁口感隨之而來。中段開始，拉格酵母帶來清爽爽口的飲用感，水果的風味更加鮮明。這杯啤酒華麗卻清爽，從入口到最後的餘韻都能感受到豐富的層次